

足利市 子ども読書活動推進計画 (第二期)

(2022年度～2026年度)



令和4年2月
足利市・足利市教育委員会

目 次

第1章 計画（第二期計画）の基本的な考え方

1 子どもの読書活動の意義	5
2 国・県の動向	5
3 市の動向	6
4 計画の目的	7
5 計画の期間	7
6 計画の対象	7

第2章 第一期計画の取組と課題

1 第一期計画での取組	8
2 具体的な取組と課題	8
3 第一期計画の指標と達成状況	10
4 第一期計画評価項目の状況	12

第3章 子どもの読書活動推進の基本方針

1 基本方針	15
2 第二期計画における指標の設定	16
3 計画の体系	17

第4章 子どもの読書活動推進のための具体的な取組

基本方針1 本との出会いや読書に親しむ機会の提供	18
1 家庭における読書活動の推進	18
2 地域における読書活動の推進	20
3 学校における読書活動の推進	21
4 幼稚園、保育所(園)、認定こども園における読書活動の推進	25
5 市立図書館における読書活動の推進	26
基本方針2 読書環境の整備・充実	28
1 学校図書館の整備・充実	28
2 市立図書館の整備・充実	30
基本方針3 読書活動推進体制の整備	32
1 図書館間の連携・協力	32
2 市立図書館と学校図書館との連携	32
3 社会教育施設、子育て支援施設等、ボランティアとの連携・協力	33
基本方針4 普及啓発・広報活動の推進	34
1 啓発・広報活動の充実	34

第5章 子どもの読書活動の推進体制

1 推進体制	35
2 進行管理と検証	35
3 その他	35

第6章 資料編

1 子どもの読書活動に関する実態調査結果	37
2 子どもの読書活動の推進に関する法律	56
3 足利市子ども読書活動推進計画策定委員会設置要綱	58
4 足利市子ども読書活動推進計画策定委員会委員名簿	60

第1章 計画（第二期計画）の基本的な考え方

1 子どもの読書活動の意義

子どもにとって「読書」とは、豊かな言葉を学び、感性を磨き、想像力を高め、考える力を育て、人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠かすことのできないものです。

家庭における乳幼児への絵本の読み聞かせは、本との最初の出会いであり、親との絆を深める貴重な時間です。幼少期の読み聞かせや質の良い本との出会いは、その後の人生をより豊かでより深いものにしていく重要な役割を担っています。また、「読む力」は、子どもが知識や技能を習得し、考えを深めたり広げたり、判断を下したりするための最も基本的な学力の一つであり、読書活動は理論的な思考力を高め、主体的に学ぶ力や知的活動の基礎を育みます。

本市では、平成29年2月に「足利市子ども読書活動推進計画」を策定し、子どもたちが家庭、公民館・子育て支援センター・こども館・放課後児童クラブ(以下「地域」という。)、小・中学校・高校・幼稚園・保育所(園)・認定こども園(以下「学校等」という。)、市立図書館・移動図書館・興国文庫(以下「図書館」という。)などを通じて本に出会えるきっかけづくりや本と触れ合える環境づくりの整備など、子どもの読書活動に関する施策の基本的な方向性と具体的な方策を体系化し、読書活動の推進に取り組んできました。

第二期計画では、第一期計画の課題を検証し、すべての子どもたちが、読書を通じて豊かな心を育て、自ら学び続ける力を身につけられるように、子どもの読書活動の推進に向けた取組の充実を図ります。

2 国・県の動向

< 国の動向 >

- 平成13(2001)年12月「子どもの読書活動の推進に関する法律」公布・施行
- 平成14(2002)年8月「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」策定
- 平成17(2005)年7月「文字・活字文化振興法」公布・施行
- 平成18(2006)年12月「教育基本法」改正
- 平成19(2007)年6月「学校教育法」改正

義務教育として行われる普通教育の目標の一つとして、同法第21条第5号に「読書に親しませ、生活に必要な国語を正しく理解し、使用する基礎的な能力を養うこと」と掲げた。

- 平成20(2008)年3月第二次「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」策定
- 平成20(2008)年6月「社会教育法等の一部を改正する法律」公布・施行
- 平成25(2013)年5月第三次「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」策定
- 平成26(2014)年6月「学校図書館法の一部を改正する法律」公布・施行
- 平成30(2018)年4月第四次「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」策定
- 令和元(2019)年6月「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」公布・施行

< 県の動向 >

- 平成 16(2004)年 2 月 「栃木県子どもの読書活動推進計画」 策定
- 平成 21(2009)年 3 月 「栃木県子どもの読書活動推進計画(第二期)」 策定
- 平成 26(2014)年 3 月 「栃木県子どもの読書活動推進計画(第三期)」 策定
- 平成 31(2019)年 3 月 「栃木県子どもの読書活動推進計画(第四期)」 策定

県は、第三期計画で、指標としていた全市町における策定(策定率 100%)を達成しました。第四期においては、継続的に取組を推進していくために、策定した計画期間の終了前に次期計画を策定する必要があるとしています。また、もう一つの指標である不読率については、目標値を達成したものの、今後の課題として、「学齢が進んでも主体的な読書活動を継続できるよう、読書の『質』を高めるための取組が求められる。」と挙げています。

3 市の動向

本市は、昭和 56 年に全国に先がけて生涯学習の立場に立った、市民参加による「足利市の教育目標(以下「教育目標」という。))」を設定し、その後、時代の変化に対応するために見直しを図りながら、人生各期別の目標の具現化に向けて各種施策を推進してきました。この中でも、「基礎的な知識や技能を習得し、自ら学びとる態度を身につける」を児童期から青年期の重点目標として掲げ、その具現化を図る中で読書活動の推進に努めています。また、平成 29 年 2 月には「子どもの読書活動推進計画」を策定し、小・中学校による一斉読書、小学校、保育所(園)、幼稚園などにおける読み聞かせなど、子どもの読書活動の推進に関する様々な施策を推進し、読書環境の充実を図っています。

- 明治 36(1903)年 足利学校の中に、県内初の公共図書館として足利学校遺蹟図書館を開館
- 大正 4(1915)年 足利学校遺蹟図書館を新築
- 昭和 32(1957)年 移動図書館の運行開始。図書館利用が困難な方へのサービスとして市内各所のステーションを定期的に巡回。
- 昭和 49(1974)年 「足利市教育振興基金」の設置
興国化学工業株式会社(現在のアキレス株式会社)から本市の教育振興に寄与するために寄附された寄附金を活用。
- 昭和 55(1980)年 栃木県立足利図書館を開館
本市における図書館機能は足利学校遺蹟図書館から県立足利図書館に移行し、古典籍等を除く遺蹟図書館の蔵書の大半は県立足利図書館に寄託された。
- 平成 27(2015)年 県立足利図書館の足利市への移管が決定
- 平成 28(2016)年 4 月 足利市立図書館を開館
- 平成 29(2017)年 2 月 「足利市子どもの読書活動推進計画」 策定

4 計画の目的

この計画は、法の基本理念に則り、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自ら進んで読書活動に親しみ、豊かな心や未来を拓く力を身につけることができるよう、多様な学習機会を提供し、家庭、地域、学校等、図書館などが連携・協力して読書活動の促進を図っていくことを目的とします。

また、この計画は、法及び国の第四次基本計画並びに県の計画(第四期)を基本とし、本市の子どもの読書活動に関する基本的な施策の方向性や取組について示すものです。

*子ども読書活動におけるSDGs（持続可能な開発目標）の推進

本計画においては、SDGs「目標4：質の高い教育をみんなに」の達成に貢献することを目指し子ども読書活動の推進に取り組みます。

SDGs (Sustainable Development Goals の略) とは、2015年(平成27年)に国連サミットで採択され「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された国際目標です。「地球上の誰一人として取り残さない」ことを誓い、2030年(令和12年)までに持続可能でより良い世界を実現するための17の目標です。



5 計画の期間

令和4（2022）年度から令和8（2026）年度の5年間とします。

6 計画の対象

この計画の対象は、0歳から概ね18歳までの子どもとします。

なお、子どもの読書活動の推進に関わる保護者をはじめ、家庭、地域、学校等、図書館など関係者も対象とします。

第2章 第一期計画の取組と課題

1 第一期計画での取組

第一期計画では、すべての子どもが、あらゆる機会とあらゆる場所において、自主的に読書活動を行うことができるよう、環境の充実を積極的に推進してきました。

また、4つの基本方針を柱に、子どもの読書活動に携わる家庭、地域、学校等、図書館をはじめとする関係機関やボランティア等との連携を図りながら、様々な施策に取り組んできました。令和2年度には、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止した事業もありましたが、令和3年度は、実施方法の工夫や内容の見直しを図りながら事業を実施しました。

2 具体的な取組と課題

(1) 【基本方針1】本との出会いや読書に親しむ機会の提供

- ・子育て支援センター、こども館等の子育て支援施設や、公民館、市立図書館において、親子で参加する読み聞かせ会を実施し、家庭での読書活動の支援に努めました。
- ・低年齢から絵本に触れる機会を提供するため、ブックスタート事業として、乳幼児健診時や保健師による乳児家庭全戸訪問の際に、リーフレットや絵本（ブックスタートパック）の配布を行いました。
- ・小・中学校において、多読賞の実施や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を利用して全校児童生徒へ図書カードを配布し、読書への意欲喚起に取り組みました。
- ・幼稚園、保育所（園）、認定こども園において、毎日の保育の中に絵本の読み聞かせを取り入れることや、絵本コーナーを設け、子どもが手に取りやすい高さや配置の工夫、発達段階や興味に合わせた魅力的な本の購入など、子どもが絵本を身近に感じられる環境づくりに努めました。
- ・移動図書館の運行や、興国文庫として公立施設の図書コーナーの充実を図り、読書活動の支援を行いました。

(2) 【基本方針2】読書環境の整備・充実

- ・学校図書館において、読み聞かせボランティア、図書館整備ボランティアを活用し、読書センターとしての機能の充実やPTAとの連携を図りました。
- ・学校図書館指導員が小中学校を巡回訪問し、子どもたちに読み聞かせやブックトークを行ったり、調べ学習の支援を行ったりするだけでなく、司書教諭等に本の配架の工夫や廃棄の仕方を指導するなど、図書館機能充実のための支援を行いました。
- ・市立図書館において、「子ども読書活動推進費」、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用して、児童書やヤングアダルト向けの図書を購入し、図書の充実を図りました。
- ・課題図書や夏休みの学習に役立つ図書などを特設展示することで、調べ学習や自由研究を支援し、本への興味・関心を高めることや読書意欲の向上に努めました。

(3) 【基本方針3】読書活動推進体制の整備

- ・県内公共図書館と連携した図書相互貸借や情報交換を行い、読書環境の充実を図りました。
- ・子どもが読書に興味をもつ機会を提供するため、小学校と連携し、図書館司書の派遣による読み聞かせやブックトークを実施しました。
- ・ボランティア団体と連携し、おおむね1歳までの子どもとその保護者を対象に、「赤ちゃんの時間」として事業を実施し、読み聞かせなどの読書活動を含めた子育てに関する支援を行いました。

(4) 【基本方針4】普及啓発・広報活動の推進

- ・小中学校におすすめ本の紹介リーフレットの配布や子ども読書週間に子ども向けの本の展示を行い、読書への関心を高める取組を実施しました。
- ・学校と協力しながら職場体験や図書館見学の受け入れ等を行い、子どもが本に触れ、自ら体験する機会を提供しました。

(5) 課題

○令和2年度に実施した実態調査では、指標として設定した「1か月に本をほとんど読まない児童・生徒の割合（不読率）」については目標を達成することができませんでした。また、「学校の授業以外で一日に30分以上読書をする児童・生徒の割合」については、数値は前回より改善したものの、小学生以外の目標を達成することができないという結果となりました。二つの指標とも、不読率は学齢が上がるにつれて高くなっており、成長とともに子どもの興味・関心が広がり、相対的に読書への関心が低くなると考えられます。このような状況を改善するためには、幼い頃からの読書習慣の形成と、読書の関心度合いが高まるような取組を推進するとともに保護者への働きかけも重要となります。

○現代の情報化社会においては、インターネットの整備や情報通信機器の急速な普及などにより、子どもの生活環境は大きく変貌を遂げています。実態調査では、本を探す時の方法を「インターネットで調べる」と回答した割合が前回調査と比較して増加していました。現在でも、市立図書館のホームページから図書の検索や予約、新刊情報等の閲覧が可能となっていますが、子どもの生活環境の変化に対応しながら、読書活動を推進していくための取組が必要となります。



3 第一期計画の指標と達成状況

指標1

1か月に本をほとんど読まない児童・生徒の割合(不読率)

「ほとんど読まない」と回答した者の割合は、小・中学生、高校生とも、前回調査より増加しており、目標値には至らない結果となりました。その割合は、学齢が上がるごとに高くなっています。

	H28 年度実態調査	目標値 (R3 年度)	R2 年度実態調査
小学生	15.6%	11.7%以下	16.3%
中学生	24.7%	18.6%以下	28.0%
高校生	42.7%	32.1%以下	53.5%

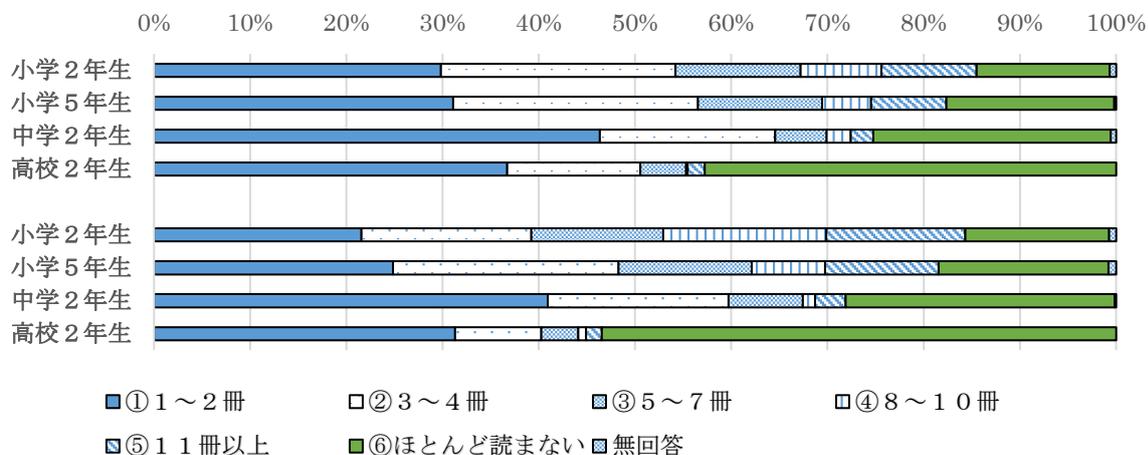
(実態調査問1)

1か月にどれくらい本（漫画、雑誌を除く）を読みますか？

H28 年度	①1～2冊	②3～4冊	③5～7冊	④8～10冊	⑤11冊以上	⑥ほとんど読まない	無回答
小学2年生	29.8%	24.4%	13.0%	8.4%	9.9%	13.8%	0.7%
小学5年生	31.1%	25.5%	12.9%	5.1%	7.8%	17.5%	0.2%
中学2年生	46.3%	18.2%	5.4%	2.5%	2.3%	24.7%	0.6%
高校2年生	36.7%	13.9%	4.7%	0.2%	1.8%	42.7%	0.0%

R2 年度	①1～2冊	②3～4冊	③5～7冊	④8～10冊	⑤11冊以上	⑥ほとんど読まない	無回答
小学2年生	21.6%	17.6%	13.7%	16.9%	14.4%	15.0%	0.7%
小学5年生	24.8%	23.4%	13.8%	7.6%	11.8%	17.6%	0.8%
中学2年生	40.9%	18.8%	7.7%	1.3%	3.2%	28.0%	0.2%
高校2年生	31.3%	8.9%	3.9%	0.8%	1.6%	53.5%	0.0%

上段 平成28年度調査 下段 令和2年度調査



指標2

学校の授業以外で1日に30分以上読書をする児童・生徒の割合

小学生では「30分以内」、中学生、高校生では「ほとんど読まない」と回答した割合が高い結果となっているものの、1日に30分以上読書する割合でみると、小学生は、前回調査から増加しており、目標値を達成しました。また、中学生、高校生については、目標値には至らなかったものの、前回より増加している結果となりました。

	H28年度実態調査	目標値(R3年度)	R2年度実態調査
小学生	28.0%	30.8%	31.8%
中学生	26.5%	29.2%	27.2%
高校生	22.0%	24.2%	23.5%

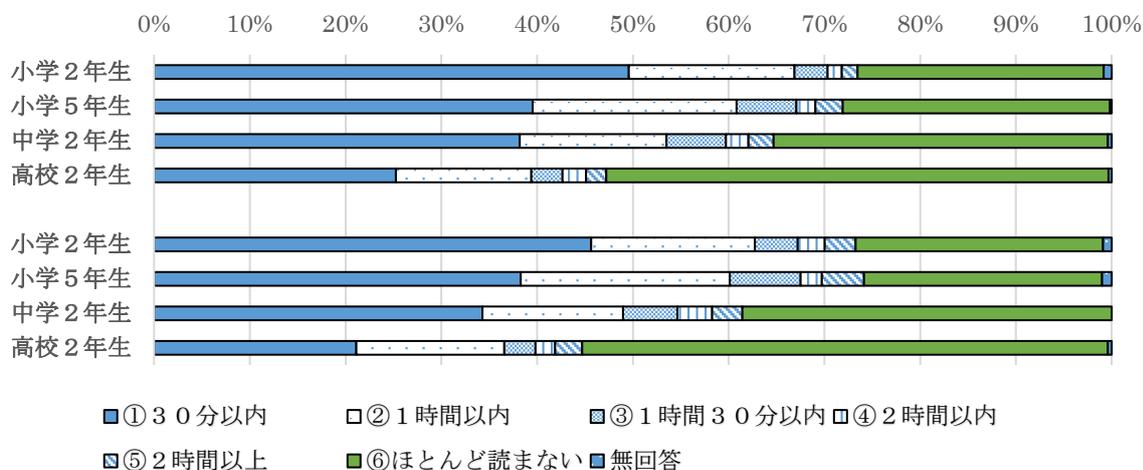
(実態調査問2)

学校の授業以外で1日にどのくらいの時間、本(漫画、雑誌を除く)を読んでいますか？

H28年度	①30分以内	②1時間以内	③1時間30分以内	④2時間以内	⑤2時間以上	⑥ほとんど読まない	無回答
小学2年生	49.6%	17.3%	3.5%	1.5%	1.6%	25.7%	0.8%
小学5年生	39.5%	21.3%	6.3%	2.0%	2.9%	27.9%	0.2%
中学2年生	38.2%	15.3%	6.2%	2.3%	2.6%	34.9%	0.4%
高校2年生	25.2%	14.2%	3.3%	2.4%	2.1%	52.4%	0.3%

R2年度	①30分以内	②1時間以内	③1時間30分以内	④2時間以内	⑤2時間以上	⑥ほとんど読まない	無回答
小学2年生	45.6%	17.1%	4.5%	2.9%	3.2%	25.8%	0.9%
小学5年生	38.3%	21.8%	7.4%	2.2%	4.4%	24.8%	1.0%
中学2年生	34.3%	14.7%	5.7%	3.6%	3.2%	38.5%	0.0%
高校2年生	21.1%	15.4%	3.3%	2.0%	2.8%	54.9%	0.4%

上段 平成28年度調査 下段 令和2年度調査



4 第一期計画評価項目の状況

評価項目

(1) 家庭における読書活動の推進

◆8 か月健診におけるブックスタート事業

絵本の配布数	回数	配布数	第二期計画では、乳児家庭全戸訪問における絵本の配布数とする。
H28 年度	36 回	956 冊	
R 元年度	22 回	765 冊	

◆うちどくコメントコンクール

	応募数
H28 年度	5,066 点
R 元年度	5,678 点

(2) 地域における読書活動の推進

◆読み聞かせの会実施状況

施設区分	公民館		こども館		子育て支援センター	
	開催数	参加者	開催数	参加者	開催数	参加者
H28 年度	0 回	0 人	71 回	1,402 人	748	22,774 人
R 元年度	14 回	171 人	147 回	3,648 人	925	17,419 人

(3) 学校における読書活動の推進

◆学校図書館利用状況

施設区分		小学校	中学校	高校	合計
蔵書数	H28 年度	195,933 冊	144,987 冊	146,016 冊	486,936 冊
	R 元年度	212,721 冊	162,980 冊	112,791 冊	488,492 冊
貸出冊数	H28 年度	182,390 冊	4,380 冊	10,601 冊	197,371 冊
	R 元年度	211,299 冊	7,311 冊	6,770 冊	225,380 冊
1 人当たりの貸出冊数	H28 年度	24.7 冊	1.1 冊	2.9 冊	13.2 冊
	R 元年度	31.6 冊	2.0 冊	2.5 冊	17.3 冊

(4) 幼稚園、保育所(園)、認定こども園における読書活動の推進

◆蔵書数

施設区分	幼稚園	公立保育所	民間保育園	認定こども園	合計
H28 年度	11,627 冊	14,360 冊	16,054 冊	8,844 冊	50,885 冊
R 元年度	3,458 冊	13,729 冊	19,479 冊	16,753 冊	53,419 冊

(5) 市立図書館における読書活動の推進

◆利用状況

利用者区分		就学前	小学生	中学生	高校生	合計
館外貸出登録者	H28年度	269人	870人	241人	229人	1,609人
	R元年度	360人	1,391人	604人	424人	2,779人
館外貸出者	H28年度	2,329人	5,897人	1,001人	724人	9,951人
	R元年度	2,209人	5,570人	792人	532人	9,103人
貸出冊数	H28年度	13,292冊	30,862冊	3,830冊	2,041冊	50,025冊
	R元年度	15,483冊	34,657冊	4,391冊	2,131冊	56,662冊

◆おはなしの会

実施状況	行事数	年間開催日数	参加者数		
			子ども	大人	合計
H28年度	119	114日	952人	1,285人	2,237人
R元年度	114	114日	652人	738人	1,390人

◆興国文庫

新規購入数	小学校	中学校	公民館	保育所	子育て支援センター	こども館	合計
H28年度	933冊	537冊	370冊	170冊	34冊	50冊	2,094冊
R元年度	792冊	445冊	344冊	202冊	55冊	71冊	1,909冊

◆司書

司書の配置	職員数	司書資格者数	配置率
H28年度	22人	13人	59.1%
R元年度	24人	15人	62.5%

(6) 学校図書館の整備・充実

◆図書の購入

新規購入数	小学校	中学校	高校	合計
H28年度	8,522冊	4,220冊	2,517冊	15,259冊
R元年度	8,063冊	4,960冊	2,075冊	15,098冊

(7) 市立図書館の整備・充実

◆図書購入

新規購入数	一般書	児童書	合計
H28年度	2,477冊	1,339冊	3,816冊
R元年度	3,059冊	1,502冊	4,561冊

◆ボランティア

配架、整理ボランティア	登録者数
H28年度	6人
R元年度	5人

◆環境整備

授乳室の設置、公衆無線LAN(Wi-Fi)サービスの導入

(8) 市立図書館と学校図書館との連携

◆司書の派遣

ブックトーク	実施校	クラス数	児童数
H28年度	13校	56クラス	1,341人
R元年度	8校	34クラス	899人

(9) 啓発・広報活動の充実

◆受け入れ状況

		受け入れ校	児童・生徒数
マイ・チャレンジ	H28年度	8校	19人
	R元年度	8校	16人
インターンシップ	H28年度	1校	3人
	R元年度	2校	4人
図書館見学	H28年度	7校	139人
	R元年度	5校	76人

※ 令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策による事業の変更、縮小、中止を行ったため、令和元年度の実績値と比較しました。

※ P12(3)、P13(5)利用状況については、平成28年度の数字に誤りがありましたので修正をしました。

第3章 子どもの読書活動推進の基本方針

1 基本方針

本計画は、国の第四次計画、県の計画(第四期)と市第8次総合計画に基づき、本市の子どもの読書活動の現状を把握するため実施した実態調査の結果を踏まえ、家庭、地域、学校等、図書館などの関係機関が連携し、総合的かつ計画的に推進します。

【基本目標 子どもの読書環境の充実】

法の基本理念に基づき、すべての子どもが、あらゆる機会とあらゆる場所において、自主的に読書活動を行うことができるよう、そのための環境の充実を積極的に推進します。

【基本方針1 本との出会いや読書に親しむ機会の提供】

《目標》

子どもが読書の楽しさ、本の素晴らしさを理解できるよう、家庭、地域、学校等、図書館などが、それぞれの役割に応じて読書に親しむ機会を提供していきます。また、子どもの発達段階に応じた取組を行います。

【基本方針2 読書環境の整備・充実】

《目標》

子どもが自ら読書に親しみ関心を深めることができるよう、子どもを取りまく環境の変化に対応しながら、図書資料や設備等の整備・充実に努め、快適な読書環境づくりを目指します。

【基本方針3 読書活動推進体制の整備】

《目標》

家庭、地域、学校等、図書館など、子どもを取り巻くすべての関係者(機関)等が連携、協力し、社会全体で子どもの読書活動を推進する体制を整備します。

【基本方針4 普及啓発・広報活動の推進】

《目標》

読書に関する情報を積極的に発信するとともに、読書活動の意義や重要性についての理解や関心を深めるため、積極的な普及啓発、広報活動を行います。

2 第二期計画における指標の設定

計画推進の指標として次のような目標を設定します。

(1) 1か月に本をほとんど読まない児童・生徒の割合(不読率)

令和2年度に実施した実態調査では、「ほとんど本を読まない」子どもが増えている一方で、「長い時間たくさん読む」子どもも増えており、両極化している傾向が見られました。また、「本が好き」と答えている児童・生徒は多いものの、実際に読書にかかる時間は年齢が上がるほど少なくなっています。第一期計画では目標を達成できなかったため、継続して目標を設定します。

	基準値：R2 (2020)年度	目標値：R8 (2026)年度
小学生	16.3%	6 %以下
中学生	28.0%	15 %以下
高校生	53.5%	43 %以下

*R8年度の目標値は、県と同様の数値(学校での朝読書の時間を含む)とした。

(2) 本を読むことが「好き」(どちらかといえば好きを含む)と回答した児童・生徒の割合

実態調査では「好き」と回答した者の割合は7割を超えていましたが、年齢が上がるとその割合は低くなっています。「好き」と回答する者の割合の増加を目指します。

	基準値 R2 (2020)年度	目標値：R8 (2026)年度
小学生	80.5%	82.5%
中学生	73.8%	75.8%
高校生	75.9%	77.9%

《参 考》

(1) 県の計画(第4期)

1か月に1冊も本(まんが・雑誌を除く)を読まない児童・生徒の割合(不読率)

	基準値：H29 (2017)	R5 (2023)年度
小学生	4.2%	6 %以下
中学生	11.9%	15 %以下
高校生	44.1%	43 %以下

※基準値は、県が実施した実態調査の結果に基づくもの。

調査対象は、県内の小学5年生、中学2年生、高校2年生で、学校での朝読書の時間を含めた調査となっています。

3 計画の体系

基本 目標	基本 方針	方策の方向	具体的な取組	
子どもの読書環境の充実	1 本との出会いや読書に親しむ機会の提供	1 家庭における読書活動の推進	(1) 情報提供や啓発資料等による保護者の理解の促進 (2) 学習機会の提供による保護者の理解の促進 (3) ブックスタート事業等による妊娠期から乳幼児期にわたる絵本に親しむ体験の推進 (4) 家読(うちどく)等を通じた家族ぐるみでの推進 (5) 読書手帳の活用	健康増進課 生涯学習課 こども課 市立図書館 健康増進課 市立図書館 市立図書館 市立図書館
		2 地域における読書活動の推進	(1) 公民館、子育て支援センター、こども館、放課後児童クラブ等による推進 (2) 民間団体等による推進 (3) ボランティア等の活動支援	生涯学習課 こども課 児童家庭課 市立図書館 市立図書館
		3 学校における読書活動の推進	(1) 読書習慣の確立 (2) 自主的に本に向き合う取組 (3) 支援が必要な子どもへの対応 (4) 学校図書館の利用促進 (5) 市立図書館との連携	学校教育課
		4 幼稚園、保育所(園)、認定こども園における読書活動の推進	(1) 図書資料(絵本)の充実 (2) 絵本の読み聞かせ等の充実 (3) 支援が必要な子どもへの対応 (4) 家庭との連携 (5) 市立図書館との連携	こども課
		5 市立図書館における読書活動の推進	(1) 読書意欲の向上に向けた取組 (2) 読書活動に親しむ機会の提供 (3) 絵本の読み聞かせやおはなしの会、「赤ちゃんの時間」の充実 (4) 移動図書館による推進 (5) 興国文庫の充実	市立図書館
	2 読書環境の整備・充実	1 学校図書館の整備・充実	(1) 図書資料の充実 (2) PTAやボランティアとの協働 (3) 適正な人員配置と資質向上 (4) 図書情報のデータベース化	学校教育課
		2 市立図書館の整備・充実	(1) 図書資料の充実 (2) 読書環境の整備 (3) 調査相談機能の充実 (4) 利用しやすい配置の工夫 (5) 司書の資質向上 (6) ボランティア活動の促進	市立図書館
	3 読書活動推進体制の整備	1 図書館間の連携・協力	(1) 公共図書館等との連携	市立図書館
		2 市立図書館と学校図書館との連携	(1) 市立図書館司書の派遣	市立図書館
		3 社会教育施設、子育て支援施設等、ボランティアとの連携・協力	(1) 社会教育施設、子育て支援施設等との連携・協力 (2) ボランティアとの連携・協力	生涯学習課 健康増進課 こども課 児童家庭課 市立図書館
	4 普及啓発・広報活動の推進	1 啓発・広報活動の充実	(1) 各種情報の収集・提供 (2) 市立図書館ホームページの充実 (3) 「子ども読書の日」を中心とした啓発・広報 (4) 市立図書館における職場体験学習や図書館見学の受け入れの促進	市立図書館

第4章 子どもの読書活動推進のための具体的な取組

【基本方針1 本との出会いや読書に親しむ機会の提供】

1 家庭における読書活動の推進

子どもの読書習慣は、日常の生活を通して形成されるものであり、家庭は子どもに対して読書の楽しさや大切さを伝える上で、大きな役割を担っています。

実態調査では、9割を超える保護者が、自分の子どもが「本が好き」と答えています。家庭で読み聞かせを行うなど「読み聞かせは大切だ」と考える保護者が多い一方で、「時間がない」ため読み聞かせができないという保護者も増えています。保護者自身が読書に親しむことや読書の重要性を認識し、本を読む姿を子どもに見せることや親子で好きな本を話題に取り上げるなど、保護者からの働きかけがきわめて重要です。

《具体的な方策》

(1) 情報提供や啓発資料等による保護者の理解の促進

子どもにとって家庭は、発達段階において最も早い時期に本に興味をもち、本を手にするきっかけとなる最も身近な読書環境といえます。

母子健康手帳交付時や保健師等による家庭訪問等において、リーフレット等を配布するなど家庭での読み聞かせや読書習慣を身に付けさせることの大切さについて、保護者への理解の促進が図られるよう啓発します。

(2) 学習機会の提供による保護者の理解の促進

乳幼児期から思春期の子どもの発達段階に応じた家庭教育に関する講座や、市立図書館、公民館、こども館、子育て支援センター等において、親子で参加できる読み聞かせの会や人形劇等を開催することにより、保護者に対して読み聞かせの意義や読書習慣を身に付けることの重要性について、理解が得られるよう努めます。

また、「※親学習プログラム」を実践した読書活動に関する学習機会を活用することで、保護者の読書に関する理解や関心を高めます。

(3) ブックスタート事業等による妊娠期から乳幼児期にわたる絵本に親しむ体験の推進

保健センターで実施される妊婦とその家族を対象とした講座の時に、絵本の読み聞かせの方法や絵本の選び方などのワンポイントアドバイスを行っています。また、乳児全戸訪問の際に、※ブックスタート事業の趣旨説明を行い、絵本を配布しています。

ブックスタート事業は、本に触れ合うきっかけづくりとして今後も市立図書館と連携をしながら事業を推進するとともに、保護者が配布された絵本を活用して家庭においても継続的に読み聞かせを行い、楽しく子育てができるような支援に努めます。

また、家庭で保護者が読み聞かせをする際の参考に、おすすめ絵本のリーフレットを配布するほか、市立図書館が実施する読み聞かせ事業の紹介をするなど、絵本に触れる機会を提供します。



<リーフレット>

(4) 家読(うちどく)等を通じた家族ぐるみでの推進

※家読(うちどく)は、家庭において、子どもを中心に家族が一緒に本を読んで感想を話し合ったり、本を紹介し合うなど、同じ時間を共有し、楽しい時間を過ごすことで家族の絆が深まり、子どもの心の成長が期待できます。今後、さらに家読(うちどく)が普及されるよう、関係機関と連携を図り、家庭での読書の取組について保護者の理解促進に努めます。

(5) 読書手帳の活用

読書手帳は、本を借りた日や本の名前、感想などを自ら記録することで、読書意欲の向上や読書習慣を身につけるための有効な手段と考えられます。家族や友達と本について話をしたり、おすすめの本を紹介する際に役立つなど、読書手帳の活用方法について周知し、読書活動の推進に努めます。

<用語解説>

※親学習プログラム：子育てに必要なスキルについて、保護者同士が身近なエピソードやワークを通じて話し合い交流しながら主体的に学ぶ、参加体験型の学習プログラム

※ブックスタート：司書、保健師、ボランティア等が連携・協力して、乳幼児への読み聞かせの方法等を説明しながら、保護者に絵本等を手渡す事業

※家読(うちどく)：「家族ふれあい読書」の略語(造語)で、家族みんなで本を紹介し合ったり、読んだ本について話し合ったりすることで「家族のコミュニケーション」を深めることを目的とした読書運動

2 地域における読書活動の推進

子どもの読書活動を推進するためには、いつも身近なところに本があり、読書活動に親しむことができる環境を整備することが大切です。

公民館、子育て支援センター、こども館、放課後児童クラブ等の地域に密着した施設は、その特徴を生かし、子どもの読書環境の充実に努めるとともに、互いに協力し連携を深めながら、より一層子どもの読書活動の推進に取り組むことが求められています。

しかしながら、実態調査では、「読みたい本をどのような方法で用意していますか」という質問に対し、「公民館や学童クラブで借りる」と回答した割合が低く、前回調査と比較しても減少傾向にありました。これらの施設は地域における身近な読書活動の場としての機能を持ち、子どもの読書活動の推進に大きな支えとなることから、その活用について広く周知を図り、利用促進に努めます。

《具体的な方策》

(1) 公民館、子育て支援センター、こども館、放課後児童クラブ等による推進

公民館は、地域密着型の社会教育施設です。多様な学習機会や集会の場を提供する中で、講座での読み聞かせなど、親子が一緒に楽しめる講座の実施や、興国文庫において、子どもに着目した図書の選定やディスプレイの工夫などを行い、地域における読書活動を支援します。

子育て支援センター、こども館では、親子で絵本を楽しめるスペースの確保や、絵本の貸出しや紹介、読み聞かせを実施し、読書活動の充実に努めます。放課後児童クラブにおいても子どもの意見を取り入れながら図書の充実に努めていきます。

これらの施設は、子どもたちにとって最も身近な活動、交流の場であることから、それぞれの特徴を生かした活動を通して読書に親しむきっかけづくりに取り組んでいます。今後も子どもにとって身近な読書活動の拠点となるための様々な支援をしていきます。



< 子育て支援センターの絵本の読み聞かせ >



< 公民館のおはなし広場 >

(2) 民間団体等による推進

子育て中の親子を応援するボランティアグループが、子育てをする保護者のための情報を満載したガイドブックを毎年発行し、読み聞かせの大切さを伝えるとともに、読み聞かせ会の実施や赤ちゃんにとって望ましい絵本の選び方などの紹介をしています。

また、大型商業施設の中にある民間のこども図書館では、子どもに本の素晴らしさを紹介しながら貸出しをしています。

このように、民間団体等の協力による市民力を生かした子どもの読書活動の推進も不可欠なことから、官民協働の取組に努めます。

(3) ボランティア等の活動支援

現在、多くのボランティアが、様々な施設で絵本の読み聞かせなど読書活動推進のための活動を行っており、社会が一体となって読書活動の推進を図るためには、今後もボランティアとの協働は不可欠といえます。ボランティアの人材育成支援として、スキルアップのための研修会の開催や新たなボランティアの発掘・養成のほか、活動の場を広げ協働することにより子どもの読書活動の推進を図ります。

3 学校における読書活動の推進

学校図書館には、子どもの自由な読書活動を支え、豊かな心や人間性、教養、創造力等を育む「読書センター」としての機能はもとより、子どもの自主的・自発的かつ協働的な学習を支え、授業内容の理解を深める「学習センター」としての機能や、子どもの情報の収集・選択・活用能力を育成する「情報センター」としての機能の充実が求められています。

小・中学校においては、それぞれの機能を発揮するために子どもが利用しやすい学校図書館の整備・充実に取り組み、平成21年度から順次図書館に図書館システムを導入し、図書の貸出し及び返却の管理、さらには図書の冊数や種類などの情報を管理していることから、国語科や総合的な学習の時間をはじめとして授業等において学校図書館を有効に活用しています。

高校においては、学習に多くの時間を割くなど、日々の生活が多忙化している傾向にあることから、時間に余裕がない中でも自発的に読書に向かえるように、個人スペースの机を設置するなど、落ち着いて読書ができる環境の整備に努めています。

実態調査では、「学校図書館を利用して本を読んだり借りたりしていますか」との質問に対して、「よく利用する」、「時々利用する」と回答した割合が、小学2年生は84.8%、小学5年生は66.3%に対して、中学2年生では19.1%、高校2年生では16.1%と、極端に減少しています。興味や知識の幅が広がる10代の子どもは、豊かな読書体験が必要とされる年代であり、読書習慣の形成や読書への関心度合いが上がるような取組を推進していく必要があります。

また、子ども達が授業等で行う「調べ学習」において、学校図書館を有効に活用できるように、一層の整備・充実を図る必要があります。

《具体的な方策》

(1) 読書習慣の確立

現在、小・中学校では、全校一斉の朝読書を行っており、子どもも教師も共に心を落ち着けて本と向き合う時間を持つようにしています。このことにより、子どもに読書に対する興味をもたせるだけでなく、情操教育としても役立っています。また、高校においては、本への関心を高めるために、朝読書や※ビブリオバトルを行うなど、読書を習慣づける取組をそれぞれの学校で行っています。

近年、子どもを取り巻く環境が大きく変化し、子どもの読書離れが顕著となっています。また、子どもの学齢が上がるにつれ、読書の時間が短くなる傾向も見られることから、小さいころから本に触れる機会を持つことや発達段階に応じた取組を行っていく必要があるため、全校一斉の朝読書の活動や読書週間の催しなどを、より充実させていくことによって、子どもに読書習慣が身に付くよう指導します。

(2) 自主的に本に向き合う取組

現在、小・中学校では、状況に応じて「多読賞」による読書の奨励や、図書委員の推薦による「おすすめ図書の紹介」、「読書カード」の活用、「図書館だより」の発行など、子どもが読書に興味をもち、読書への意欲を喚起するような工夫した取組を継続的に行っています。また、保護者や図書館ボランティアを中心に、読み聞かせやおはなしの会、読書活動に関するイベントなど、子どもの読書意欲を高める取組が展開されています。

また、高校においては上記の取組に加えて、各校とも図書委員が中心となり、本の貸出しや返却作業を行うなど、読書活動の推進に努めています。

今後も、図書委員会による自主的な活動や保護者や学校図書館ボランティア等による読み聞かせ、ブックトークなど、子どもが読書に興味をもつ機会を提供し、自主的に本に向き合うような指導・支援を行います。また、大手新聞社が実施する「※オーサー・ビジット」に応募し、本の作者が学校を訪れ直接授業を受ける機会を設けるなど、本の魅力を感じ取り、読書意欲を高める取組を工夫することで不読者の減少を目指します。



< 学校図書館 >

(3) 支援が必要な子どもへの対応

小・中学校においては、発達段階や支援の必要性に応じて子どもの読書活動を支援しています。今後ますます地域との連携や交流活動を通じて、幅広い読書活動の機会を提供することが求められていますので、読書環境の整備や読書情報の充実が課題となっています。

障がいのある子どもが豊かな読書活動を体験できるよう、障がいの状況に応じた選書や視聴覚機器の使用、またボランティアの活用など、読書環境の整備に向けた研究を進めます。高校においては、必要に応じて個人の能力に合わせたレファレンスを行っています。また、市立図書館が会員となっている「※サピエ」の情報を活用することにより、点字図書や全国の点字図書館等の点字データの相互利用を推進します。

さらに、小・中学校には日本語を母語としない子どもたちがいます。これらの子どもたちが読書に親しむことができるよう、必要に応じて図書資料などの充実に努め、多文化・多言語にふれる機会や交流を充実します。

(4) 学校図書館の利用促進

小・中学校においては、子どもにとって魅力的な本や「調べ学習」に役立つ本を揃えるだけでなく、配架の工夫など子どもにとって利用しやすく魅力を感じられるような、環境整備のための工夫が求められています。また、クラスになじめない子どもたちなどの居場所としても期待されるなど、読書以外の幅広い役割が図書館に求められています。

高校においては、落ち着いて自習ができる場など、館内のくつろげる空間づくりや、生徒の目につくポップづくりやディスプレイを工夫するなど、自然に読書に親しめ、利用しやすい読書環境の整備に努めています。

現行学習指導要領の総則では、「学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、児童(生徒)の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に生かすとともに、児童(生徒)の自主、自発的な学習活動や読書活動を充実すること。」と明記されています。この学習指導要領の考え方を踏まえ、各教科や特別の教科である道徳、総合的な学習の時間、特別活動や小学校の外国語活動など、様々な教育活動において、学校図書館の計画的な利用を図り、学校図書館が「調べ学習」などにおいて子どもの主体的な学びを支える「学習・情報センター」としての機能を果たせるような運営を推進します。

また、子どもが分からないことがあったときなどに、自ら本を探して調べ自ら疑問を解決することができるよう、※NDCによる利用指導等の取組を通じて、情報の探し方についても発達段階に応じて指導するほか、学校図書館に配備されている専用パソコンや図書館システムの有効活用を図り、子どもの読書活動の充実を図ります。

(5) 市立図書館との連携

毎年、小学校では図書館見学や市立図書館の司書を学校に招いてのブックトークを行い、中学校ではマイ・チャレンジ、高校ではインターンシップの生徒の受け入れをお願いしています。子どもの読書活動を推進するためにも、子どもの身近な施設である学校図書館と市立図書館が連携することが、「調べ学習」の資料の検索、体験活動など、子どもの主体的な読書活動を進めるためにも重要と考えます。

図書館の司書と司書教諭や学校図書館担当が情報共有や連携を図り、子どもが主体的・意欲的に読書活動に取り組める環境づくりに努め、学校図書館の利用促進を図ります。

また、GIGAスクールタブレットを活用し、市立図書館が発信する情報の取得や市立図書館の団体貸出制度を利用して、学校図書館にはない多くの図書と出会える機会を提供します。



< マイ・チャレンジ >

<用語解説>

- ※ビブリオバトル：参加者がおすすめの本を持ち寄りその本の魅力を紹介し合い、どの本が読みたくなったかを基準に参加者の多数決で勝者を決める書評会。
- ※オーサー・ビジット：大手新聞社が実施する事業で、対象は小学校から高校で、好きな本の作者(オーサー)が各地の学校を訪れ、個性たっぷりの授業を2時間程度行う。
- ※サピエ：視覚障がい者及び目で文字を読むことが困難な方々対して、様々の情報を点字、音声データなどで提供するネットワーク。日本点字図書館がシステムを管理し、全国視覚障害者情報提供施設協会が運営を行っている。
- ※NDC：日本十進分類法で、日本の図書館で広く行われている図書分類法。これに慣れることで図書館において自分が必要な本を素早く探すことができる。

4 幼稚園、保育所(園)、認定こども園における読書活動の推進

乳幼児期における読み聞かせは、身近な大人と向き合い楽しく温かい時間を過ごす大切な機会であり、読み聞かせを通じて言葉や想像力、豊かな感性を育みます。

子どもが絵本やおはなし等に親しみ、読書の楽しさに出会うためには、教諭や保育士が幼児の成長や発達に考慮しながら良質の絵本を選び、さらに、読み聞かせを充実させていくことが大切です。また、保護者に対しても読み聞かせの大切さや意義を伝える役割を担っていきます。

実態調査では、「小さい頃、誰に本を読んでもらいましたか」との質問に対し、「お父さん、お母さん」と回答した割合が高くなっています。次いで、どの学年においても「保育所(園)、幼稚園の先生」と回答した割合が高く、前回の調査と比較しても増加傾向にあり、子どもの読書活動の推進に大きな支えとなっています。また、4歳児の保護者に対する実態調査では、「子どもの読書環境等で、充実させて欲しいと思うことは何ですか」との質問に対し、「幼稚園、保育所(園)、認定こども園の絵本コーナーの充実」と回答した割合が40.9%と高くなっています。小さい頃からの読み聞かせの大切さを保護者が認識し、良質の絵本の充実など、子どもの豊かな創造力を高められるような環境づくりを求めているものと考えられます。

《具体的な方策》

(1) 図書資料(絵本)の充実

子どもの興味や発達過程に応じて、どのような絵本が最適か選択し、子どもが絵本に興味や関心を持つように、遊びの中で絵本と親しむような保育環境の工夫や絵本コーナーの設置など、絵本が幼児の身近にあり、安心して触れることのできる環境づくりに努めます。

(2) 絵本の読み聞かせ等の充実

毎日の保育の中で、子どもたちが本に親しみがもてるよう、子どもの年齢に応じた読み聞かせを積極的に実施しています。

子どもたちが読書の楽しさに出会うためには、教諭や保育士が子どもの成長や発達を考慮しながら良質の絵本などを選び、読み聞かせを充実させていくことが大切です。子どもたちがたくさんの本と出会うために、絵本の設置場所や配置の方法などを工夫して環境整備を図るとともに、教諭や保育士自身が読み聞かせの大切さや意義を再認識し、スキルアップに努めていきます。

(3) 支援が必要な子どもへの対応

幼稚園、保育所(園)、認定こども園においては、障がいのある子どもや日本語を母語としない子どもの発達段階や支援の必要性に合わせて、絵本や紙芝居に触れる環境を整え、読書のおもしろさや楽しさを味わえるよう支援していきます。

(4) 家庭との連携

携帯電話やスマートフォンから流れる映像や音楽は、手軽に扱えて子どもの興味を引くことができ、保護者の多くが活用していることから、子どもの絵本離れの一因として懸念されています。

保護者に向けて家庭での読み聞かせの大切さや意義について啓発し、刺激的な画像や音響に出会う前に、親の膝の上で居心地良く「一緒に絵本を読む」親子読書への働きかけを積極的に行います。また、年齢や発達に合わせた絵本を紹介するなど、家庭内での読書活動を支援します。

(5) 市立図書館との連携

幼稚園、保育所(園)、認定こども園や家庭にある本だけではなく、子どもたちがたくさんの本と出会えるように、市立図書館の団体貸出制度により、大型絵本や紙芝居を積極的に活用しながら読み聞かせの充実に努めていきます。また、市立図書館にある絵本や童話、図鑑等の情報を共有し、保護者に情報発信することで、市立図書館の利用促進を図ります。

5 市立図書館における読書活動の推進

子どもの読書活動を推進するため、児童書の選書や本の配架の工夫など、読書に親しむことができる環境づくりが求められています。また、実態調査では、市立図書館の利用は、学齢が上がるほど減少する傾向にあることが判りました。市立図書館へ足を運びたいくなるような魅力ある図書館づくりと、広報の仕方の工夫をし、子どもが本と出会える機会の提供に努めます。

《具体的な方策》

(1) 読書意欲の向上に向けた取組

市立図書館を利用する機会の少ない子どもが気軽に来館し、本に興味を持つきっかけづくりとなるよう、新たにコミックを整備します。

また、コミックの内容と関連する図書を同時に展示するなど、読書への関心度合いが高まる取組を実施し、利用者の拡大や子どもの読書意欲の向上に努めます。

(2) 読書活動に親しむ機会の提供

子どもの読書活動普及のため、「おはなし会」や「講演会」を継続的に実施するほか、図書の紹介ポップ作成や窓口業務を体験する「子ども司書体験講座」を実施するなど、子どもが楽しみながら読書活動に親しむ機会を提供します。



< こども司書体験 >

(3) 絵本の読み聞かせやおはなしの会、「赤ちゃんの時間」の充実

子どもにとって読書が乳幼児期から生活の一部となり、また、生涯にわたって読書続けるには、まず本の楽しさや面白さを知ってもらう必要があります。

市立図書館では、おはなしの会や語りの会などボランティアグループの協力を得て、幼児や児童に本の楽しさを伝える読み聞かせやおはなしの会を開催しています。

また、平成28年度から、子育て中の方でも赤ちゃんを連れて図書館を気軽なく利用していただくことを目的に、「赤ちゃんの時間」を設けています。乳幼児期から絵本に親しみ、豊かな心を育むことや、保護者に読み聞かせの大切さを知ってもらう機会を提供します。

○おはなしの会の実施

名 称	内 容	実施日
絵本の時間	絵本の読み聞かせ	毎週水曜日
赤ちゃんの時間	絵本の読み聞かせ、ベビーマッサージなど	毎月第2,3木曜日
おはなし会	民話や昔ばなしの語り	毎月第1土曜日
たのしいお話し会	民話や昔ばなしの語り	毎月第2土曜日
楽しい読み聞かせ	絵本の読み聞かせ	毎月第3土曜日
本を楽しむ会	本の読み聞かせ	毎月第4土曜日



< おはなしの会 >



< 赤ちゃんの時間 >

(4) 移動図書館による推進

昭和32年から始まった移動図書館は、毎月市内42箇所のステーションを巡回する「動く図書館」として、幼児から高齢者まで多くの地域住民の読書活動に利用されています。平成30年度に図書館システムを導入し、約20,000冊の図書資料の管理や貸し出し手続きの効率化を図り、利便性を向上させました。今後は、更なる利用促進に向けた広報活動に努めます。

(5) 興国文庫の充実

足利市教育振興基金を活用し、小・中学校や保育所、公民館などの市有施設に図書購入費を配分しています。購入した図書は「※興国文庫」として活用され、地域住民の身近な読書活動の場として大きな役割を果たしています。毎年配分方法などの見直しを行い有効な活用に努めるほか、各施設が図書を購入する際に、選書についての支援を行うなど、興国文庫の充実に努めます。



< 移動図書館（ともしび号） >



< 公民館の興国文庫 >

<用語解説>

※興国文庫：本市の教育振興に寄与することを目的に興国化学工業株式会社（現在のアキレス株式会社）から昭和49年に寄附された1億円により、足利市教育振興基金を設置、小・中学校や保育所、公民館などの市有施設に配分し図書資料の充実を図っている。

【基本方針2 読書環境の整備・充実】

1 学校図書館の整備・充実

小・中学校においては、学校図書館を利用した読書指導を充実させ「調べ学習」を通して子どもの情報活用能力の向上に役立つ資料を整備するために、文学作品に偏ることなく各ジャンルのバランスがとれた選書を行い、「読書センター」、「学習センター」及び「情報センター」としての機能を充実させることが大切です。

子ども自らが本に興味を持ち、手にとって読みたくなるような選書に努めるとともに各教科の内容に合った、授業に利活用できる本を整備し、使いやすい図書館となるように計画的な購入と適正な本の配置に努めます。

また、高校においては、各校の蔵書数は約 20,000～約 24,000 冊となっていますが、読書離れを防止するため、魅力的な本を購入するとともに、読書習慣の形成に向け、各種事業に取り組みます。

実態調査では、「学校図書館に望むものは何ですか」との質問に対して、「面白い本を置いてもらいたい」、「自分の読みたい本が欲しい」と回答する割合が、年齢が上がるほど増加する傾向にあることから、図書の充実を希望していることがうかがえます。

《具体的な方策》

(1) 図書資料の充実

小・中学校における図書は、市費のほか興国文庫の配分額により購入されており、市費購入額は年々増加傾向にあります。文部科学省が実施した「令和 2 年度学校図書館の現状に関する調査」の結果によると、本市の「学校図書館図書標準」の達成状況は、多くの小・中学校で「学校図書館図書標準」の定める冊数を上回っている状況です。今後は、傷んだ本の廃棄等を進めながら蔵書数を増やしていくことが課題ですが、子どもたちの読書活動を推進し、読書習慣を形成していくために、子どもの多様な興味や関心に応え、豊かな心を育む「読書センター」としての機能をもつ学校図書館にするための整備・充実を進めます。

また、高校においては、学習に適した図書資料や各種文学賞ノミネート作品のほか、生徒の希望を積極的に取り入れた図書の収集を行うなど、魅力的な図書資料の充実を図ります。

(2) P T A やボランティアとの協働

現在、小・中学校においては、各学校の地理的、社会的、人的環境に応じて、P T A と連携して家読(うちどく)を推進したり、P T A や学校図書館ボランティアと連携して、図書の受け入れや配架、貸出・返却、又は図書館改造を協力して行うなど、関係者と連携した取組を、それぞれの学校が工夫して展開しています。このように、学校の規模や地域の実情等により、読み聞かせや図書の修理・配架・整理などに、P T A や地域のボランティアの大きな支援を受けている学校もあります。

従って、今後も P T A や学校図書館ボランティア等との協働は不可欠であり、学校と家庭、地域が連携して子どもの読書活動を支援できるような体制づくりを構築する必要があることから、P T A や学校図書館ボランティアの協力を得て、特色のある学校図書館づくりを推進します。

(3) 適正な人員配置と資質向上

子どもの読書活動を支援するためには、校内の協力体制の確立と、学校図書館を管理する人的環境整備として専門的職員である司書教諭と学校司書の役割が重要です。小・中学校においては現在、学校図書館法(昭和 28 年法

律第 185 号)に基づいて 12 学級以上の学校には司書教諭を配置し、また、校務分掌に学校図書館担当を位置付け、組織的に読書活動を推進しています。

しかしながら、まだ、小・中学校の学校関係者や P T A から、学校図書館を運営し質の高い読書環境を整えるために重要な役割を担う学校司書の配置について大きな期待があります。また、クラスになじめない子どもたちなどが図書館を居場所とすることもあることから、それらの子どもを見守ったり話し相手になったりするコーディネーターとしての役割も、今後求められてきます。従って、これらの適正な配置に向けた検討に取り組み、各学校が読書活動をより一層推進できるよう、支援、体制づくりに努めます。

また、高校においては、学校図書館担当職員向け研修会等を活用し、司書教諭等の資質向上に努めます。

(4) 図書情報のデータベース化

学校図書館の情報化のため、小・中学校の図書館に、学校図書館システムを導入し、図書館資料のデータベース化に取り組んでいます。

今後、各学校間の図書資料の共有化など、ネットワーク化についての検討を進めます。

2 市立図書館の整備・充実

市立図書館は、子どもにとっては豊富な図書資料の中から読みたい本を自由に選択して読書を楽しめる場であり、保護者にとっては子どもに読ませたい本を選んだり子どもの読書について気軽に相談できる場です。

実態調査では、中学 2 年生の 61.7%、高校 2 年生の 61.6%が「面白い本を置いてもらいたい」、「自分の読みたい本が欲しい」と答えています。また、中学 2 年生の 12.3%、高校 2 年生の 10.6%が「調べものや勉強に役立つ本が欲しい」と答えています。

子どもにとってより魅力のある本や図書資料についての情報収集をするとともに、子どもたちに読ませたい本、大人が読み聞かせをしてあげたい本、さらには子育て支援の本など、子どもだけでなく大人も足を運んで読みたくなる本を積極的に揃える必要があります。また、子どもの読書活動推進の拠点としての役割を果たす活動を展開していきます。

《具体的な方策》

(1) 図書資料の充実

図書購入に関わる限られた財源の中で、児童室、ヤングアダルトコーナーや足利ゆかりの郷土資料の収集・充実を図り、これらを有効活用できるよう読書環境の整備に努めます。また、子どもたちの興味や関心を引くような新刊の収集に努めるとともに、利用者からのリクエストへの対応や、公共図書館間の相互貸借を活用するなど様々なニーズに対応した資料を収集します。

児童書については、絵本や読みものに偏らず、子どものための調べ学習や自由研究などを支援するための資料を積極的に収集します。

また、大型絵本、点字図書、大活字本、朗読CD、外国語の絵本や児童書など様々な種類の図書資料を整備し、障がいのある子どもや日本語を母語としない子どもが読書活動を行えるよう環境整備に努めます。

(2) 読書環境の整備

近年、情報通信機器の普及により、インターネットを活用した図書の検索や電子書籍の利用など、子どもの生活環境は大きな変貌を遂げています。現在、図書館館内では、オンライン閲覧目録(OPAC)による図書の検索が、館外からはインターネットを活用した図書の検索、予約、新刊図書情報の閲覧が可能となっていますが、今後更に、子どもの読書活動を推進するためデジタル環境の整備に努めます。

(3) 調査相談機能の充実

現代の情報化社会においては、インターネットを使って情報を簡単に手に入れることができる一方で、子どもが「自ら想像力を働かせ、試行錯誤しながら答えにたどり着く」という機会が減少しています。図書館司書が行うレファレンスは、答えを導き出す過程を支援するもので、図書館で直接対応するほかに、メールや電話での対応も行っています。子どもが自ら課題を解決できる力を育めるように、調べ学習や本に関する相談に応じるなど、読書活動の支援に努めます。

(4) 利用しやすい配置の工夫

市立図書館では、児童書が配架されている児童室があり、その一角に絵本が配架され読み聞かせの会場となる「お話しコーナー」があります。

子どもの目線に合わせた図書の配置など、子どもが自分で自由に本を選ぶことができ、保護者もそれを見守ることのできる、利用しやすく快適な環境整備に努めます。併せて子ども向けのフロア図の作成や表示の工夫等により「どこに何があるか」が視覚的に分かる環境を整えます。

(5) 司書の資質向上

市立図書館には、専門的な知識と技術を習得した司書が配置されています。児童書をはじめとする図書資料の選書、収集のほか、読み聞かせやおはなしの会などの文化事業の企画及び実施、あるいは利用者からのレファレンスなど、様々なニーズや要望に的確に対応するなど、図書館事業の重要な役割を担っています。

司書の専門性や重要性から積極的な配置を目指すとともに、資質・能力を向上させるため、継続的・計画的な研修を実施します。

(6) ボランティア活動の促進

現在、絵本の読み聞かせやおはなしの会の運営及び図書の配架、整理など、図書館運営においては多くのボランティアの協力を得ています。

ボランティアとの連携、協力は重要であるため、図書館ボランティアの養成を図るとともに、活動の場を提供するなど、子どもの読書活動の推進を図ります。

【基本方針3 読書活動推進体制の整備】

1 図書館間の連携・協力

子どもの読書活動を一層推進していくためには、栃木県立図書館を中心とした県内公共図書館等との相互連携・協力体制が不可欠です。

子どもが本と出会う機会を増やすため、県内公共図書館のネットワークを活用し、子どもたちへの豊かな読書環境の提供に努めます。

《具体的な方策》

(1) 公共図書館等との連携

図書資料の充実を図る上で、県内公共図書館や国立国会図書館並びに大学図書館とのネットワークの活用が欠かせません。利用する子どもたちの様々な要望やレファレンスに応え、利便性を図るため、図書館間の連携を促進していきます。

また、市立図書館は県内の公共図書館が加入する「栃木県図書館協会」に加入していることから、「栃木県図書館総合目録」によりインターネットによる県内公共図書館の蔵書一括検索を活用し、県内各図書館からの借受けが可能となっています。県内公共図書館の蔵書や資料を有効活用することで、子どもの読書活動の促進に努めます。

2 市立図書館と学校図書館との連携

子どもの読書活動及び学習活動を充実させるためには、子どもの身近にある施設である学校図書館と市立図書館が協力し連携することが、子どもたちの主体的な読書活動を進めるために重要です。

具体的には、市立図書館は、「調べ学習」の資料の検索、貸出し、見学及び体験活動の受入れ等、事業への協力を通して積極的に連携を進め、子どもの利用促進を図ります。

《具体的な方策》

(1) 市立図書館司書の派遣

小・中学校で、市立図書館の司書が読み聞かせやブックトークなどを行い、読書に興味を持つ機会を提供することで、子どもが主体的な読書活動を進めるための支援をします。

また、図書整理の方法や本の修理など学校図書館機能を充実させるための支援をします。

3 社会教育施設、子育て支援施設等、ボランティアとの連携・協力

子どもの読書活動に携わる社会教育施設(生涯学習センター、公民館等)、子育て支援施設(保健センター、子育て支援センター、こども館、放課後児童クラブ)等が連携・協力し、総合的に子どもの読書活動の推進を図ります。

《具体的な方策》

(1) 社会教育施設、子育て支援施設等との連携・協力

市内の社会教育施設や子育て支援施設等には、図書コーナーや図書室が設けられるなど、子どもの読書活動推進のための様々な事業が展開されています。今後は、これらの施設が連携・協力し、それぞれの特性を生かしつつ、子どもたちにとって魅力ある読書環境づくりに取り組みます。



＜ こども館の図書コーナー ＞

(2) ボランティアとの連携・協力

地域に根ざした読書活動推進のためには、ボランティアとの連携は不可欠であり、ボランティアによる読み聞かせは、子どもと本を結びつけるきっかけとなります。今後も、子どもが本に興味を持ち、多くの本と出合える機会を増やすために、読書活動に携わるボランティアとの連携強化に努めます。

【基本方針4 普及啓発・広報活動の推進】

1 啓発・広報活動の充実

子どもが読書意欲を高めるためには、主に日常生活が営まれる家庭、地域、学校において子どもの身近にいる大人自身も、読書活動の意義や重要性に理解と関心を持つことが大切です。

地域社会全体で子どもの読書活動を推進するために、「子ども読書の日」などの機会を活用した取組の実施や、市立図書館司書が選んだおすすめ本のリーフレットの作成及び配布など、効果的な啓発・広報活動を行います。

《具体的な方策》

(1) 各種情報の収集・提供

市立図書館、公民館などの社会教育施設、保健センターやこども館などの子育て支援施設では、子どもの読書活動推進にむけた様々な事業を実施しています。これらの活動について、市の広報誌やホームページ等を活用し情報提供に努めます。

(2) 市立図書館ホームページの充実

子ども向けの事業や新刊情報、おすすめ本の紹介などの各種情報を、誰もが容易に活用できるように、市立図書館のホームページの充実を図ります。

(3) 「子ども読書の日」を中心とした啓発・広報

「こどもの読書週間」や「読書週間」などの機会に、子ども向けの本の展示を行うなど、本への関心を高められるような企画を実施するとともに、子どもの読書活動の推進に向けた社会的気運が高まるよう、啓発・広報活動を実施します。



＜ 市制 100 周年記念 読書週間子どもの本の展示 あつまれ！おはなしの森 ＞

(4) 市立図書館における職場体験学習や図書館見学の受け入れの促進

中学生のマイ・チャレンジや高校生インターンシップなどの職場体験学習や図書館見学など、市立図書館を観て聞いて体験できる機会を学校等に提供します。また、積極的な受け入れを行うことで市立図書館が身近な施設であることなどを理解してもらい、市立図書館の利用推進に努めます。

第5章 子どもの読書活動の推進体制

1 推進体制

本計画の着実な推進を図るため、市民ニーズの把握に努めるとともに、具体的な方策や事業の実施に当たっては、市並びに教育委員会と家庭、地域、学校等、図書館などが緊密な連携を図りながら取り組みます。

2 進行管理と検証

本計画に基づいて行われる具体的な方策の取組状況については、市の関係課との連携の下に市立図書館が把握します。

本計画において設定された指標について、その目標値達成に向け取り組む具体的方策の達成状況を検証するために主要施策ごとに評価項目を定め、具体的な方策が、効果的かつ確実に実施されるために点検や評価を行います。

また、取組状況については、足利市立図書館協議会に報告し、十分な成果を上げることができない方策については検証を行い、計画の着実な推進に向けて改善を図ります。

3 その他

本計画に掲げられた施策を計画的に推進するため、市は必要な措置を講ずるよう努めます。

また、本計画の着実な推進のため、子どもの読書活動に関する関係団体とのネットワークを構築し、定期的に意見交換の場を設けるなど、情報の共有化を図りながら計画を推進していきます。

第6章 資料編

- 1 子どもの読書活動に関する実態調査結果
- 2 子どもの読書活動の推進に関する法律
- 3 足利市子ども読書活動推進計画策定委員会設置要綱
- 4 足利市子ども読書活動推進計画策定委員会委員名簿

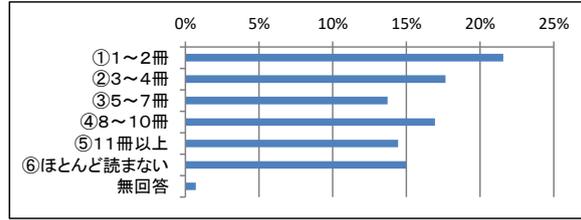
子どもの読書活動に関する実態調査結果(小学2年)

依頼人数及び回答数

回答数	依頼人数	回収率
561	576	97.4%

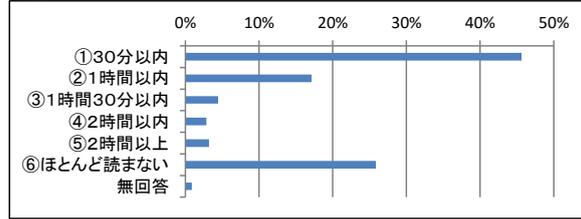
【問1】1か月にどれくらい本(漫画、雑誌を除く)を読みますか？

選択肢	回答数	回答率
①1~2冊	121	21.6%
②3~4冊	99	17.6%
③5~7冊	77	13.7%
④8~10冊	95	16.9%
⑤11冊以上	81	14.4%
⑥ほとんど読まない	84	15.0%
無回答	4	0.7%
合計	561	-



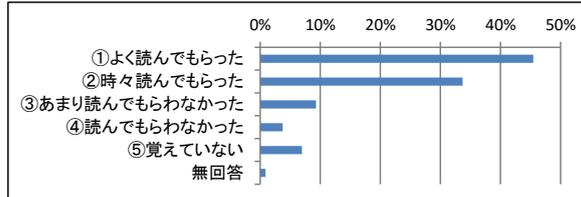
【問2】学校の授業以外で1日にどのくらいの時間、本(漫画、雑誌を除く)を読んでいますか？

選択肢	回答数	回答率
①30分以内	256	45.6%
②1時間以内	96	17.1%
③1時間30分以内	25	4.5%
④2時間以内	16	2.9%
⑤2時間以上	18	3.2%
⑥ほとんど読まない	145	25.8%
無回答	5	0.9%
合計	561	-



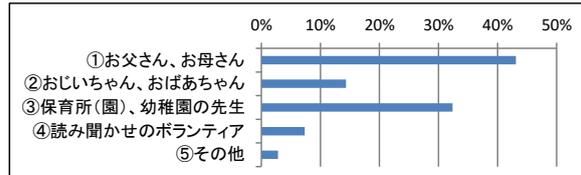
【問3】小さい頃、本を読んでもらいましたか？

選択肢	回答数	回答率
①よく読んでもらった	255	45.5%
②時々読んでもらった	189	33.7%
③あまり読んでもらわなかった	52	9.3%
④読んでもらわなかった	21	3.7%
⑤覚えていない	39	7.0%
無回答	5	0.9%
合計	561	-



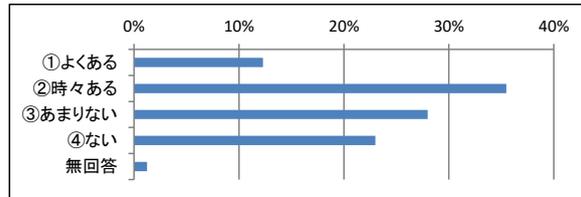
【問4】誰に読んでもらいましたか？

選択肢	回答数	回答率
①お父さん、お母さん	382	43.1%
②おじいちゃん、おばあちゃん	127	14.3%
③保育所(園)、幼稚園の先生	287	32.4%
④読み聞かせのボランティア	65	7.3%
⑤その他	25	2.8%
合計	886	-



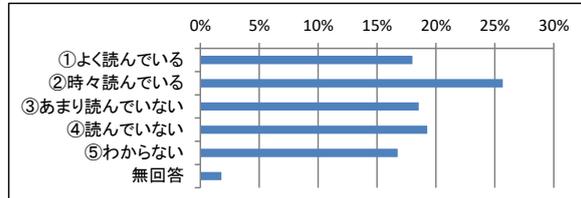
【問5】家で家族と本のことについて話すことはありますか？

選択肢	回答数	回答率
①よくある	69	12.3%
②時々ある	199	35.5%
③あまりない	157	28.0%
④ない	129	23.0%
無回答	7	1.2%
合計	561	-



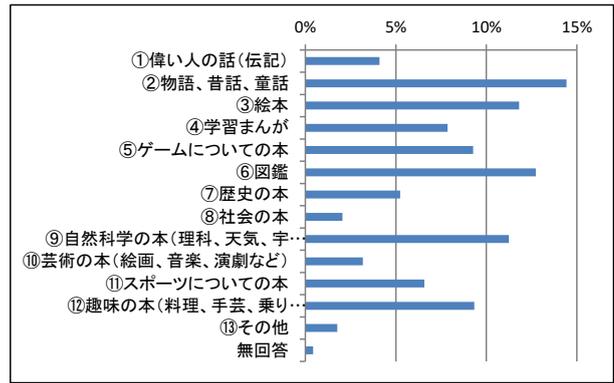
【問6】お父さん、お母さんは、家で本を読んでいますか？

選択肢	回答数	回答率
①よく読んでいる	101	18.0%
②時々読んでいる	144	25.7%
③あまり読んでいない	104	18.5%
④読んでいない	108	19.3%
⑤わからない	94	16.8%
無回答	10	1.8%
合計	561	-



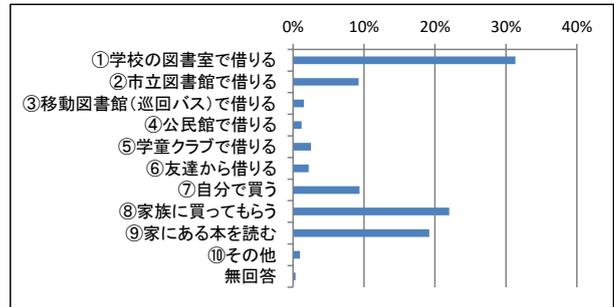
【問7】どんな本が読みたいですか？

選択肢	回答数	回答率
①偉い人の話(伝記)	58	4.1%
②物語、昔話、童話	204	14.4%
③絵本	167	11.8%
④学習まんが	111	7.9%
⑤ゲームについての本	131	9.3%
⑥図鑑	180	12.7%
⑦歴史の本	74	5.2%
⑧社会の本	29	2.1%
⑨自然科学の本(理科、天気、宇宙、生き物など)	159	11.2%
⑩芸術の本(絵画、音楽、演劇など)	45	3.2%
⑪スポーツについての本	93	6.6%
⑫趣味の本(料理、手芸、乗り物、釣りなど)	132	9.3%
⑬その他	25	1.8%
無回答	6	0.4%
合計	1,414	-



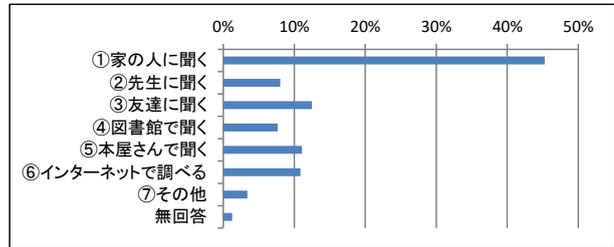
【問8】読みたい本をどのような方法で用意していますか？

選択肢	回答数	回答率
①学校の図書室で借りる	444	31.3%
②市立図書館で借りる	131	9.2%
③移動図書館(巡回バス)で借りる	22	1.6%
④公民館で借りる	17	1.2%
⑤学童クラブで借りる	36	2.5%
⑥友達から借りる	31	2.2%
⑦自分で買う	133	9.4%
⑧家族に買ってもらう	312	22.0%
⑨家にある本を読む	272	19.2%
⑩その他	14	1.0%
無回答	5	0.4%
合計	1,417	-



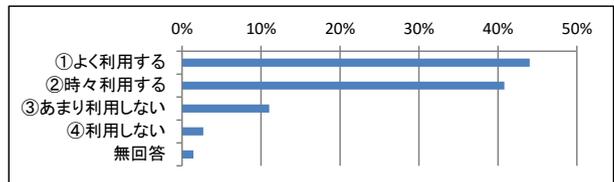
【問9】本を探す時は、どのような方法で探しますか？

選択肢	回答数	回答率
①家の人に聞く	254	45.3%
②先生に聞く	45	8.0%
③友達に聞く	70	12.5%
④図書館で聞く	43	7.7%
⑤本屋さんで聞く	62	11.1%
⑥インターネットで調べる	61	10.9%
⑦その他	19	3.4%
無回答	7	1.2%
合計	561	-



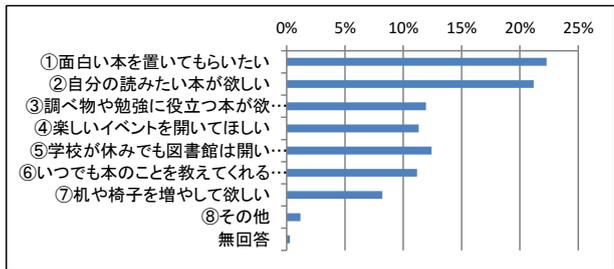
【問10】学校の図書館を利用して本を読んだり借りたりしていますか？

選択肢	回答数	回答率
①よく利用する	247	44.0%
②時々利用する	229	40.8%
③あまり利用しない	62	11.1%
④利用しない	15	2.7%
無回答	8	1.4%
合計	561	-



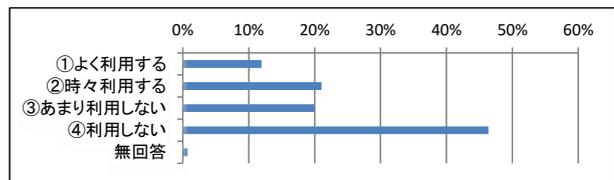
【問11】学校の図書館に望むものは何ですか？

選択肢	回答数	回答率
①面白い本を置いてもらいたい	321	22.3%
②自分の読みたい本が欲しい	305	21.2%
③調べ物や勉強に役立つ本が欲しい	172	11.9%
④楽しいイベントを開いてほしい	163	11.3%
⑤学校が休みでも図書館は開いて欲しい	179	12.4%
⑥いつでも本のことを教えてくれる人がいて欲しい	161	11.2%
⑦机や椅子を増やして欲しい	118	8.2%
⑧その他	17	1.2%
無回答	4	0.3%
合計	1,440	-



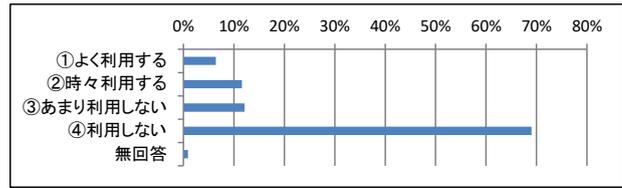
【問12】市立図書館を利用して本を読んだり借りたりしていますか？

選択肢	回答数	回答率
①よく利用する	67	11.9%
②時々利用する	118	21.0%
③あまり利用しない	112	20.0%
④利用しない	260	46.3%
無回答	4	0.7%
合計	561	-



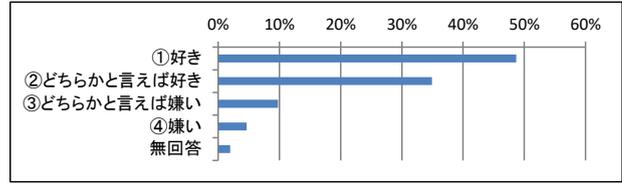
【問13】公民館の図書コーナーで本を読んだり借りたりしていますか？

選択肢	回答数	回答率
①よく利用する	36	6.4%
②時々利用する	65	11.6%
③あまり利用しない	68	12.1%
④利用しない	387	69.0%
無回答	5	0.9%
合計	561	



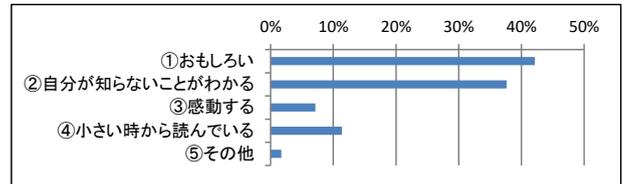
【問14】本を読むことが好きですか？

選択肢	回答数	回答率
①好き	273	48.7%
②どちらかと言えば好き	196	34.9%
③どちらかと言えば嫌い	55	9.8%
④嫌い	26	4.6%
無回答	11	2.0%
合計	561	



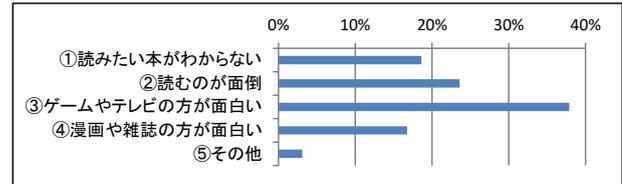
【問15】本が好きなのは理由は何ですか？

選択肢	回答数	回答率
①おもしろい	319	42.1%
②自分が知らないことがわかる	285	37.6%
③感動する	54	7.1%
④小さい時から読んでいる	86	11.4%
⑤その他	13	1.7%
合計	757	



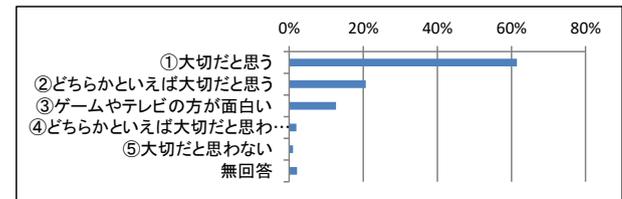
【問16】本が好きでない理由は何ですか？

選択肢	回答数	回答率
①読みたい本がわからない	30	18.6%
②読むのが面倒	38	23.6%
③ゲームやテレビの方が面白い	61	37.9%
④漫画や雑誌の方が面白い	27	16.8%
⑤その他	5	3.1%
合計	161	



【問17】読書をするのは大切だと思いますか？

選択肢	回答数	回答率
①大切だと思う	345	61.5%
②どちらかといえば大切だと思う	116	20.7%
③ゲームやテレビの方が面白い	71	12.7%
④どちらかといえば大切だと思わない	11	2.0%
⑤大切だと思わない	6	1.1%
無回答	12	2.1%
合計	561	



問4 その他の回答:

- ・兄
- ・姉
- ・弟
- ・いとこ
- ・親戚
- ・友達

問7 その他の回答:

- ・クロスワードの本
- ・ギネスの本
- ・工作の本
- ・サバイバルの本
- ・キャンプの本
- ・動物の本
- ・マジックの本
- ・楽しい本
- ・恐竜の本
- ・ミステリーの本
- ・文庫本
- ・論語
- ・小説
- ・漫画
- ・雑誌
- ・なぞなぞ
- ・クイズや迷路
- ・怖い話
- ・ヨシタケシンスケさんの本

問8 その他の回答:

- ・他の市立図書館で借りる
- ・アピタ図書館
- ・テレビで見て探す
- ・プレゼント
- ・塾で読む
- ・保育園でもらう

問9 その他の回答:

- ・自分で探す
- ・考えて探す
- ・テレビで見て探す
- ・学校の図書館委員会の人に聞く
- ・自分で図書室で探す
- ・移動図書館で探す
- ・姉に聞く
- ・書店で探す

問11 その他の回答:

- ・2冊以上借りられるようにしてほしい
- ・本を多くしてほしい
- ・コングラガッチの本を置いてもらいたい
- ・アンパンマンを置いてほしい

問15 その他の回答:

- ・勉強になる
- ・気になる
- ・結構面白い本があるから
- ・頭がよくなる
- ・自分のお話の中にいる気持ちになれるから
- ・楽しいから
- ・はらはらする
- ・友達と本の内容の共有ができる
- ・読むのが好きだから
- ・豆知識や意味がよくわかる
- ・自分のお気に入りのものがあるから

問16 その他の回答:

- ・体を動かすのが好きだから
- ・その本の意味が分からない

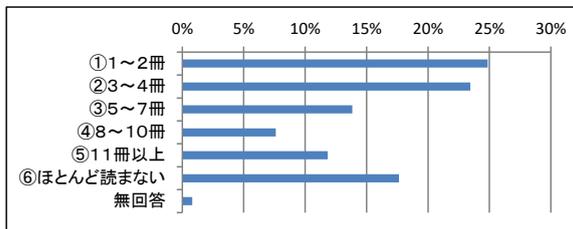
子どもの読書活動に関する実態調査結果(小学5年)

依頼人数及び回答数

回答数	依頼人数	回収率
499	514	97.1%

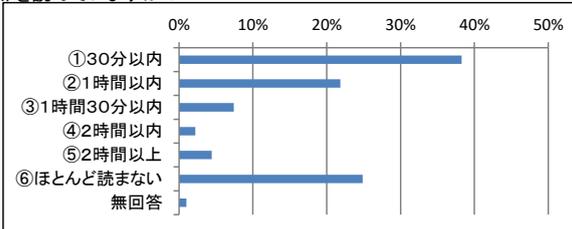
【問1】1か月にどれくらい本(漫画、雑誌を除く)を読みますか？

選択肢	回答数	回答率
①1~2冊	124	24.8%
②3~4冊	117	23.4%
③5~7冊	69	13.8%
④8~10冊	38	7.6%
⑤11冊以上	59	11.8%
⑥ほとんど読まない	88	17.6%
無回答	4	0.8%
合計	499	-



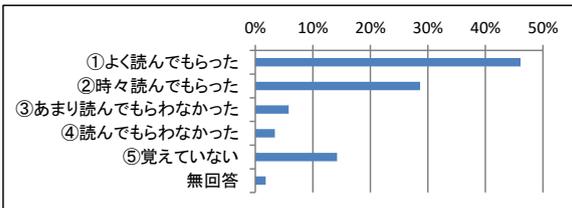
【問2】学校の授業以外で1日にどのくらいの時間、本(漫画、雑誌を除く)を読んでいますか？

選択肢	回答数	回答率
①30分以内	191	38.3%
②1時間以内	109	21.8%
③1時間30分以内	37	7.4%
④2時間以内	11	2.2%
⑤2時間以上	22	4.4%
⑥ほとんど読まない	124	24.8%
無回答	5	1.0%
合計	499	-



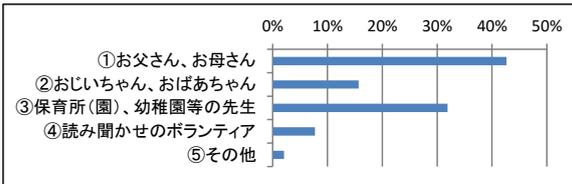
【問3】小さい頃、本を読んでもらいましたか？

選択肢	回答数	回答率
①よく読んでもらった	230	46.1%
②時々読んでもらった	143	28.7%
③あまり読んでもらわなかった	29	5.8%
④読んでもらわなかった	17	3.4%
⑤覚えていない	71	14.2%
無回答	9	1.8%
合計	499	-



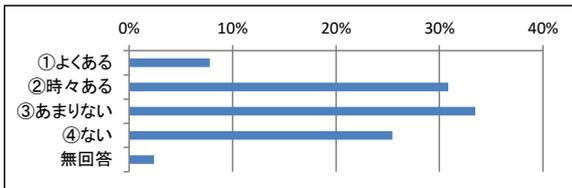
【問4】誰に読んでもらいましたか？

選択肢	回答数	回答率
①お父さん、お母さん	310	42.6%
②おじいちゃん、おばあちゃん	114	15.7%
③保育所(園)、幼稚園等の先生	232	31.9%
④読み聞かせのボランティア	56	7.7%
⑤その他	15	2.1%
合計	727	-



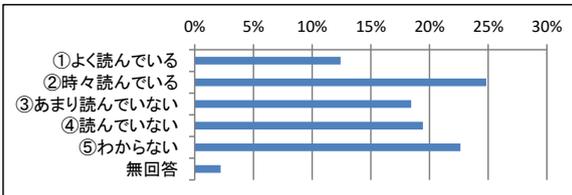
【問5】家で家族と本のことについて話すことはありますか？

選択肢	回答数	回答率
①よくある	39	7.8%
②時々ある	154	30.9%
③あまりない	167	33.5%
④ない	127	25.5%
無回答	12	2.4%
合計	499	-



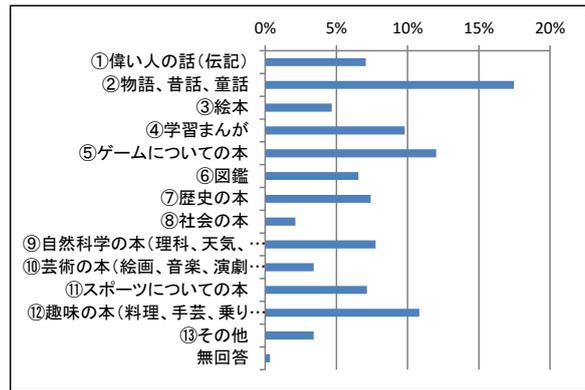
【問6】お父さん、お母さんは、家で本を読んでいますか？

選択肢	回答数	回答率
①よく読んでいる	62	12.4%
②時々読んでいる	124	24.8%
③あまり読んでいない	92	18.4%
④読んでいない	97	19.4%
⑤わからない	113	22.6%
無回答	11	2.2%
合計	499	-



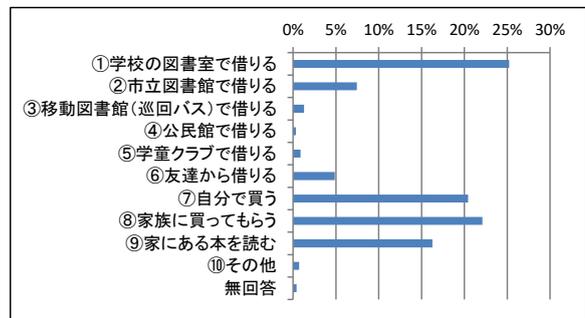
【問7】どんな本が読みたいですか？

選択肢	回答数	回答率
①偉い人の話(伝記)	83	7.1%
②物語、昔話、童話	205	17.5%
③絵本	55	4.7%
④学習まんが	115	9.8%
⑤ゲームについての本	141	12.0%
⑥図鑑	77	6.6%
⑦歴史の本	87	7.4%
⑧社会の本	25	2.1%
⑨自然科学の本(理科、天気、宇宙、生き物など)	91	7.8%
⑩芸術の本(絵画、音楽、演劇など)	40	3.4%
⑪スポーツについての本	84	7.2%
⑫趣味の本(料理、手芸、乗り物、釣りなど)	127	10.8%
⑬その他	40	3.4%
無回答	4	0.3%
合計	1174	-



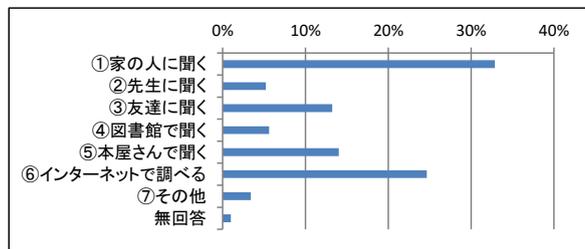
【問8】読みたい本をどのような方法で用意していますか？

選択肢	回答数	回答率
①学校の図書室で借りる	315	25.2%
②市立図書館で借りる	93	7.5%
③移動図書館(巡回バス)で借りる	16	1.3%
④公民館で借りる	4	0.3%
⑤学童クラブで借りる	11	0.9%
⑥友達から借りる	61	4.9%
⑦自分で買う	255	20.4%
⑧家族に買ってもらう	276	22.1%
⑨家にある本を読む	203	16.3%
⑩その他	9	0.7%
無回答	5	0.4%
合計	1248	-



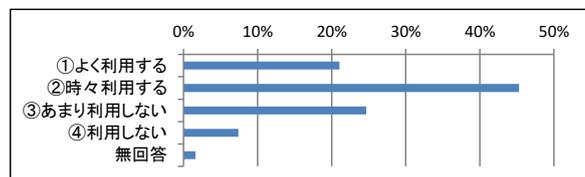
【問9】本を探すときは、どのような方法で探しますか？

選択肢	回答数	回答率
①家の人に聞く	164	32.9%
②先生に聞く	26	5.2%
③友達に聞く	66	13.2%
④図書館で聞く	28	5.6%
⑤本屋さんに聞く	70	14.0%
⑥インターネットで調べる	123	24.6%
⑦その他	17	3.4%
無回答	5	1.0%
合計	499	-



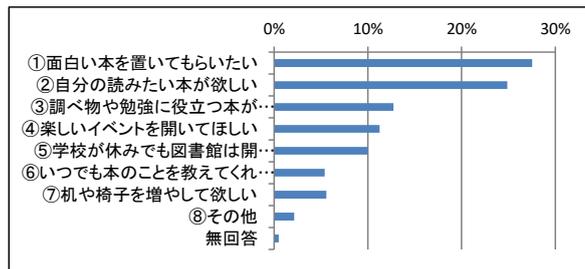
【問10】学校の図書館を利用して本を読んだり借りたりしていますか？

選択肢	回答数	回答率
①よく利用する	105	21.0%
②時々利用する	226	45.3%
③あまり利用しない	123	24.6%
④利用しない	37	7.4%
無回答	8	1.6%
合計	499	-



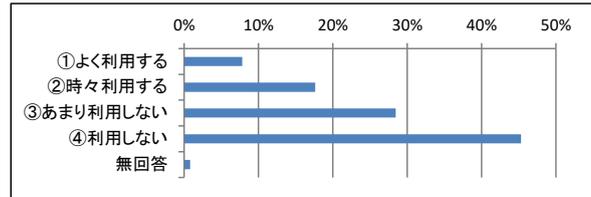
【問11】学校の図書館に望むものは何ですか？

選択肢	回答数	回答率
①面白い本を置いてもらいたい	281	27.5%
②自分の読みたい本が欲しい	254	24.9%
③調べ物や勉強に役立つ本が欲しい	130	12.7%
④楽しいイベントを開いてほしい	115	11.3%
⑤学校が休みでも図書館は開いて欲しい	102	10.0%
⑥いつでも本のことを教えてくれる人がいて欲しい	55	5.4%
⑦机や椅子を増やして欲しい	57	5.6%
⑧その他	22	2.2%
無回答	5	0.5%
合計	1021	-



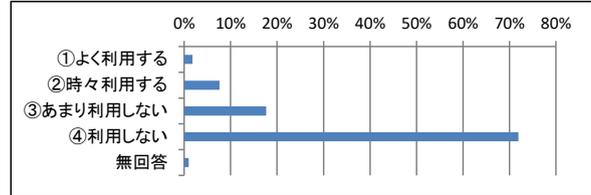
【問12】市立図書館を利用して本を読んだり借りたりしていますか？

選択肢	回答数	回答率
①よく利用する	39	7.8%
②時々利用する	88	17.6%
③あまり利用しない	142	28.5%
④利用しない	226	45.3%
無回答	4	0.8%
合計	499	-



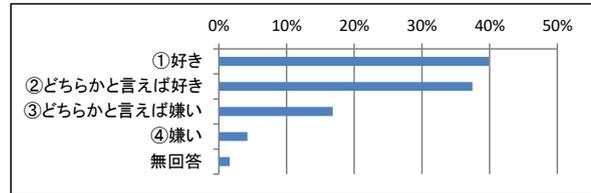
【問13】公民館の図書コーナーで本を読んだり借りたりしていますか？

選択肢	回答数	回答率
①よく利用する	9	1.8%
②時々利用する	38	7.6%
③あまり利用しない	88	17.6%
④利用しない	359	71.9%
無回答	5	1.0%
合計	499	-



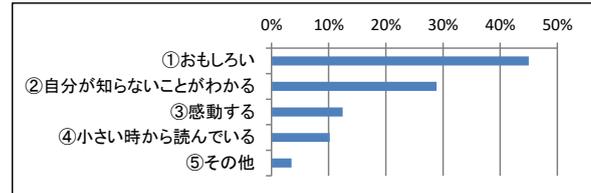
【問14】本を読むことが好きですか？

選択肢	回答数	回答率
①好き	199	39.9%
②どちらかと言えば好き	187	37.5%
③どちらかと言えば嫌い	84	16.8%
④嫌い	21	4.2%
無回答	8	1.6%
合計	499	-



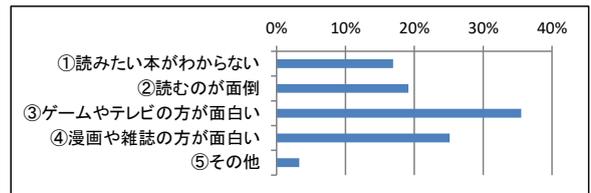
【問15】本が好きな理由は何ですか？

選択肢	回答数	回答率
①おもしろい	296	45.0%
②自分が知らないことがわかる	190	28.9%
③感動する	82	12.5%
④小さい時から読んでいる	67	10.2%
⑤その他	23	3.5%
合計	658	-



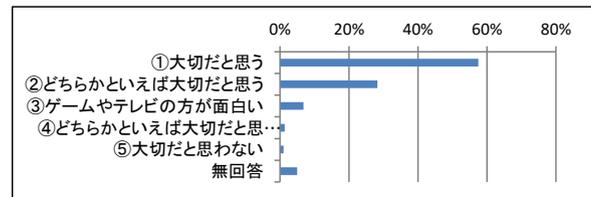
【問16】本が好きでない理由は何ですか？

選択肢	回答数	回答率
①読みたい本がわからない	31	16.9%
②読むのが面倒	35	19.1%
③ゲームやテレビの方が面白い	65	35.5%
④漫画や雑誌の方が面白い	46	25.1%
⑤その他	6	3.3%
合計	183	-



【問17】読書をすることは大切だと思いますか？

選択肢	回答数	回答率
①大切だと思う	287	57.5%
②どちらかといえば大切だと思う	141	28.3%
③ゲームやテレビの方が面白い	34	6.8%
④どちらかといえば大切だと思わない	7	1.4%
⑤大切だと思わない	5	1.0%
無回答	25	5.0%
合計	499	-



問4 その他の回答:

- ・兄
- ・姉
- ・いとこ
- ・叔母さん
- ・はとこ
- ・友達同士
- ・施設の職員
- ・いろいろ

問7 その他の回答:

- ・マンガ
- ・恋愛小説
- ・小説
- ・映画の小説
- ・恐竜の本
- ・アニメーションの本
- ・ホラー小説
- ・ミステリー
- ・しずくちゃん
- ・オウマドキ学園
- ・ケイタイ小説
- ・野いちご
- ・ジョジョ
- ・好きな人の小説
- ・本当は怖い話
- ・RPG
- ・犬が警察犬を目指す本など
- ・動物系のノンフィクション
- ・マンガノバライズ
- ・役に立つ本
- ・ねこの本(命の話)

問8 その他の回答:

- ・スマホのアプリで読む
- ・メルカリ
- ・あきらめる
- ・姉から借りる
- ・読みたいけど読んでない

問9 その他の回答:

- ・自分で探す
- ・本屋さんで自分で探す
- ・図書館で自分で探す
- ・テレビ
- ・ケイタイ
- ・案内表
- ・表紙を見て面白そうなものを探す
- ・図書館にあるパソコンで調べる
- ・図書館の先生におすすめを聞く
- ・人からもらう
- ・いとこに聞く
- ・探さない

問11 その他の回答:

- ・私の好きな本シリーズがあまりないからほしい
- ・上履きで入れるようにしてほしい
- ・スポーツの本を増やしてほしい
- ・文庫本をもっと増やしてほしい
- ・ミステリー系統の小説を増やしてほしい
- ・小説をもっと置いてほしい
- ・英字の本
- ・恋愛小説
- ・マンガを置いてほしい
- ・アニメ
- ・ゲームの本
- ・本を調べられるコンピューター
- ・作者コーナーを作してほしい
- ・もう少し細かく本を分けてほしい
- ・まちがい探し、なぞなぞ
- ・ピクミンとかの生物図鑑
- ・そのままがいい
- ・無料で本を一冊もらえる
- ・カウンターを増やしてほしい
- ・広くしてほしい
- ・読みたい本の場所が分かるようにしたい
- ・物語の本を置いてほしい
- ・流行している本
- ・もっと本を借りたい

問15 その他の回答:

- ・共感できる
- ・いろいろなことがたくさんわかるから
- ・ドキドキする
- ・読み飽きない
- ・本の世界に入れて自分の世界が広がっていくから
- ・考え方が変わる
- ・楽しみがある・楽しいから
- ・続きが読みたくなる
- ・勉強になる
- ・物語が好き
- ・物語に引き込まれて読みいってしまうから
- ・歴史とか好きだから
- ・自分が物語に入っているように楽しめる
- ・自分じゃ考えられない架空の世界には入れるから
- ・怖い話の意味が分かった時の快感
- ・偉い人の話が書かれてる本を読むとすごいなあと感じるから
- ・落ち着くから
- ・いろいろな種類があるから
- ・自分で想像するのが好き
- ・暇つぶしになる
- ・こんなことがあったんだとびっくりする
- ・今の自分と比べられるから

問16 その他の回答:

- ・絵が少ないのがあるから
- ・読むのは楽しいけどつまらない
- ・字が小さくて見づらいから
- ・途中で飽きてしまったり、疲れてしまったりする

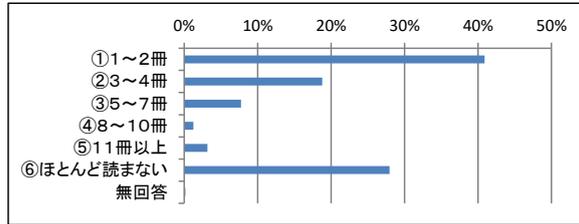
子どもの読書活動に関する実態調査結果(中学2年)

依頼人数及び回答数

回答数	依頼人数	回収率
633	668	94.8%

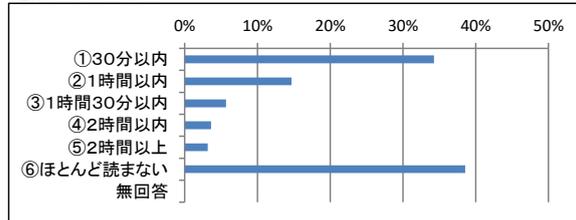
【問1】1か月にどれくらい本(漫画、雑誌を除く)を読みますか？

選択肢	回答数	回答率
①1～2冊	259	40.9%
②3～4冊	119	18.8%
③5～7冊	49	7.7%
④8～10冊	8	1.3%
⑤11冊以上	20	3.2%
⑥ほとんど読まない	177	28.0%
無回答	1	0.2%
合計	633	-



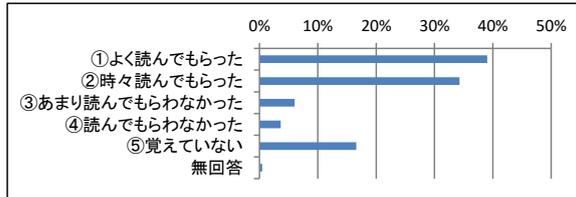
【問2】学校の授業以外で1日にどのくらいの時間、本(漫画、雑誌を除く)を読んでいますか？

選択肢	回答数	回答率
①30分以内	217	34.3%
②1時間以内	93	14.7%
③1時間30分以内	36	5.7%
④2時間以内	23	3.6%
⑤2時間以上	20	3.2%
⑥ほとんど読まない	244	38.5%
無回答	0	0.0%
合計	633	-



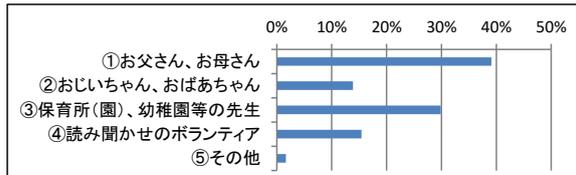
【問3】小さい頃、本を読んでもらいましたか？

選択肢	回答数	回答率
①よく読んでもらった	247	39.0%
②時々読んでもらった	217	34.3%
③あまり読んでもらわなかった	38	6.0%
④読んでもらわなかった	23	3.6%
⑤覚えていない	105	16.6%
無回答	3	0.5%
合計	633	-



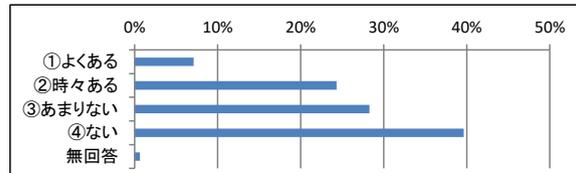
【問4】誰に読んでもらいましたか？

選択肢	回答数	回答率
①お父さん、お母さん	398	39.1%
②おじいちゃん、おばあちゃん	141	13.9%
③保育所(園)、幼稚園等の先生	304	29.9%
④読み聞かせのボランティア	157	15.4%
⑤その他	17	1.7%
合計	1017	-



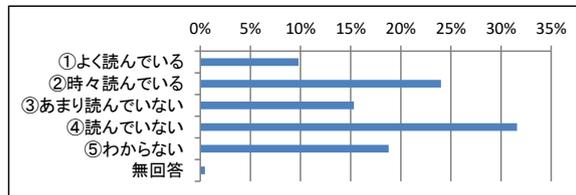
【問5】家で家族と本のことについて話すことはありますか？

選択肢	回答数	回答率
①よくある	45	7.1%
②時々ある	154	24.3%
③あまりない	179	28.3%
④ない	251	39.7%
無回答	4	0.6%
合計	633	-



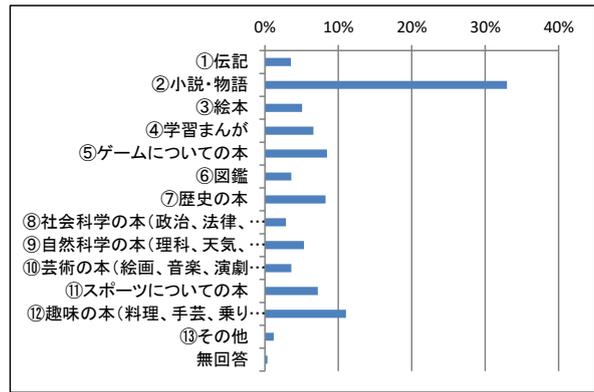
【問6】お父さん、お母さんは、家で本を読んでいますか？

選択肢	回答数	回答率
①よく読んでいる	62	9.8%
②時々読んでいる	152	24.0%
③あまり読んでいない	97	15.3%
④読んでいない	200	31.6%
⑤わからない	119	18.8%
無回答	3	0.5%
合計	633	-



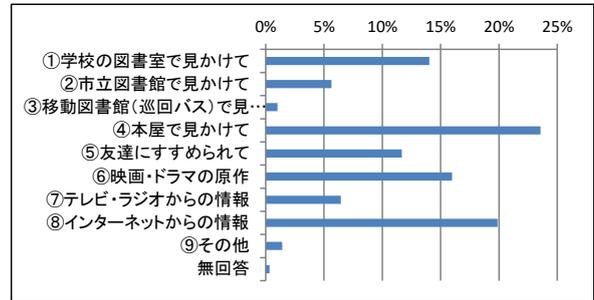
【問7】どんな本が読みたいですか？

選択肢	回答数	回答率
①伝記	53	3.5%
②小説・物語	495	33.0%
③絵本	76	5.1%
④学習まんが	99	6.6%
⑤ゲームについての本	127	8.5%
⑥図鑑	54	3.6%
⑦歴史の本	124	8.3%
⑧社会科学の本(政治、法律、教育など)	43	2.9%
⑨自然科学の本(理科、天気、宇宙、生き物など)	80	5.3%
⑩芸術の本(絵画、音楽、演劇など)	54	3.6%
⑪スポーツについての本	108	7.2%
⑫趣味の本(料理、手芸、乗り物、釣りなど)	166	11.1%
⑬その他	18	1.2%
無回答	5	0.3%
合計	1502	-



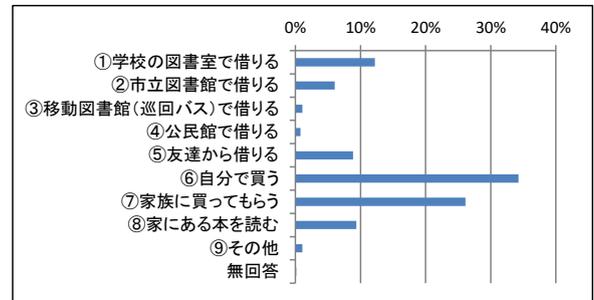
【問8】今まで読んでみたいと思った本は、どんなきっかけで知りましたか？

選択肢	回答数	回答率
①学校の図書室で見かけて	209	14.0%
②市立図書館で見かけて	84	5.6%
③移動図書館(巡回バス)で見かけて	15	1.0%
④本屋で見かけて	351	23.6%
⑤友達にすすめられて	174	11.7%
⑥映画・ドラマの原作	238	16.0%
⑦テレビ・ラジオからの情報	96	6.4%
⑧インターネットからの情報	296	19.9%
⑨その他	21	1.4%
無回答	5	0.3%
合計	1489	-



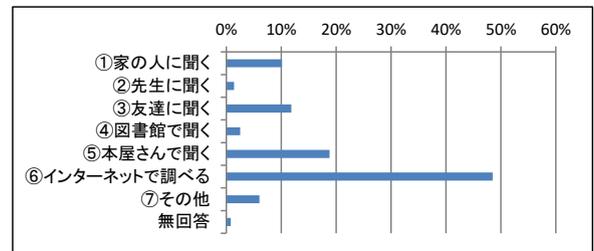
【問9】読みたい本をどのような方法で用意していますか？

選択肢	回答数	回答率
①学校の図書室で借りる	169	12.2%
②市立図書館で借りる	84	6.1%
③移動図書館(巡回バス)で借りる	15	1.1%
④公民館で借りる	11	0.8%
⑤友達から借りる	123	8.9%
⑥自分で買う	475	34.3%
⑦家族に買ってもらう	362	26.1%
⑧家にある本を読む	130	9.4%
⑨その他	15	1.1%
無回答	2	0.1%
合計	1386	-



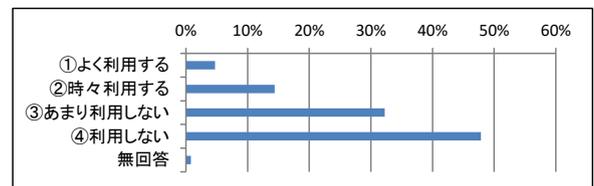
【問10】本を探すときは、どのような方法で探しますか？

選択肢	回答数	回答率
①家の人に聞く	64	10.1%
②先生に聞く	9	1.4%
③友達に聞く	75	11.8%
④図書館で聞く	16	2.5%
⑤本屋さんで聞く	119	18.8%
⑥インターネットで調べる	307	48.5%
⑦その他	38	6.0%
無回答	5	0.8%
合計	633	-



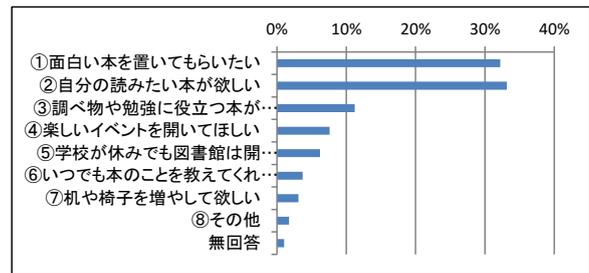
【問11】学校の図書館を利用して本を読んだり借りたりしていますか？

選択肢	回答数	回答率
①よく利用する	30	4.7%
②時々利用する	91	14.4%
③あまり利用しない	204	32.2%
④利用しない	303	47.9%
無回答	5	0.8%
合計	633	-



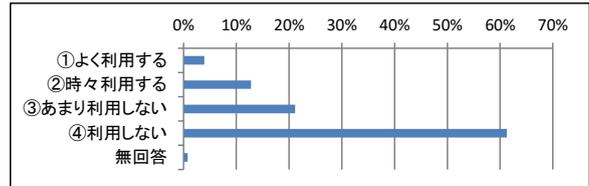
【問12】学校の図書館に望むものは何ですか？

選択肢	回答数	回答率
①面白い本を置いてもらいたい	373	32.2%
②自分の読みたい本が欲しい	384	33.2%
③調べ物や勉強に役立つ本が欲しい	130	11.2%
④楽しいイベントを開いてほしい	88	7.6%
⑤学校が休みでも図書館は開いて欲しい	72	6.2%
⑥いつでも本のことを教えてくれる人がいて欲しい	43	3.7%
⑦机や椅子を増やして欲しい	36	3.1%
⑧その他	20	1.7%
無回答	12	1.0%
合計	1158	-



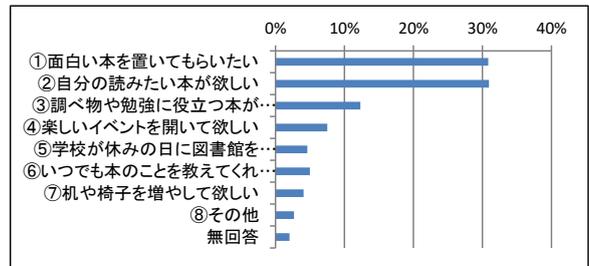
【問13】市立図書館を利用して本を読んだり借りたりしていますか？

選択肢	回答数	回答率
①よく利用する	25	3.9%
②時々利用する	81	12.8%
③あまり利用しない	134	21.2%
④利用しない	388	61.3%
無回答	5	0.8%
合計	633	-



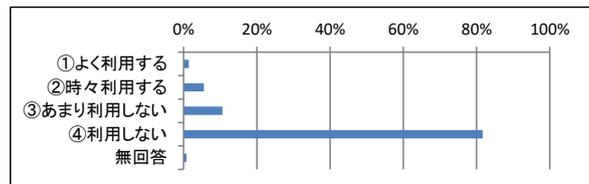
【問14】市立図書館に望むものは何ですか？

選択肢	回答数	回答率
①面白い本を置いてもらいたい	333	30.8%
②自分の読みたい本が欲しい	334	30.9%
③調べ物や勉強に役立つ本が欲しい	133	12.3%
④楽しいイベントを開いて欲しい	81	7.5%
⑤学校が休みの日に図書館を開いて欲しい	50	4.6%
⑥いつでも本のことを教えてくれる人がいて欲しい	54	5.0%
⑦机や椅子を増やして欲しい	44	4.1%
⑧その他	29	2.7%
無回答	22	2.0%
合計	1080	-



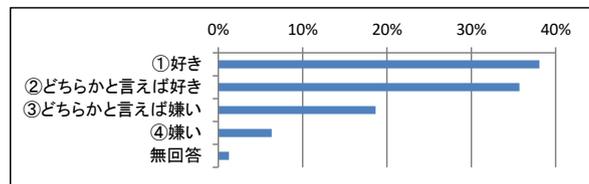
【問15】公民館の図書コーナーで本を読んだり借りたりしていますか？

選択肢	回答数	回答率
①よく利用する	9	1.4%
②時々利用する	35	5.5%
③あまり利用しない	67	10.6%
④利用しない	517	81.7%
無回答	5	0.8%
合計	633	-



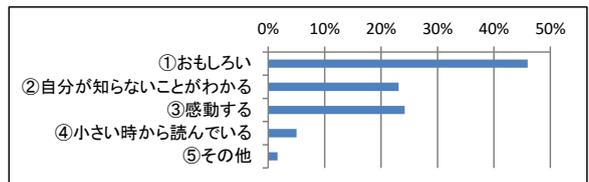
【問16】本を読むことが好きですか？

選択肢	回答数	回答率
①好き	241	38.1%
②どちらかと言えば好き	226	35.7%
③どちらかと言えば嫌い	118	18.6%
④嫌い	40	6.3%
無回答	8	1.3%
合計	633	-



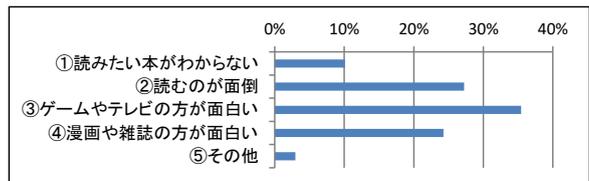
【問17】本が好きな理由は何ですか？

選択肢	回答数	回答率
①おもしろい	386	46.0%
②自分が知らないことがわかる	194	23.1%
③感動する	203	24.2%
④小さい時から読んでいる	42	5.0%
⑤その他	14	1.7%
合計	839	-



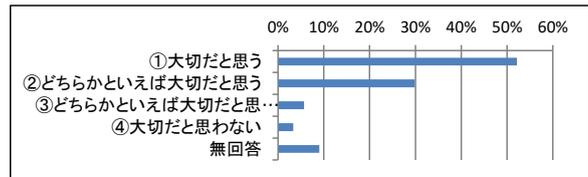
【問18】本が好きでない理由は何ですか？

選択肢	回答数	回答率
①読みたい本がわからない	27	10.1%
②読むのが面倒	73	27.2%
③ゲームやテレビの方が面白い	95	35.4%
④漫画や雑誌の方が面白い	65	24.3%
⑤その他	8	3.0%
合計	268	-



【問19】読書することは大切だと思いますか？

選択肢	回答数	回答率
①大切だと思う	330	52.1%
②どちらかといえば大切だと思う	189	29.9%
③どちらかといえば大切だと思わない	36	5.7%
④大切だと思わない	21	3.3%
無回答	57	9.0%
合計	633	-



問4 その他の回答：

- ・兄
- ・姉
- ・学校の先生
- ・キンダーガーデンのティーチャー
- ・友達
- ・学園の先生
- ・近所のお姉さん
- ・親戚
- ・PTA
- ・職場の人
- ・覚えていない
- ・いとこ

問7 その他の回答：

- ・漫画
- ・車のエンジンの本
- ・世界遺産
- ・雑誌
- ・医療
- ・ノベライズ本
- ・ライトノベル
- ・習近平の本
- ・好きなアニメの小説ばん
- ・鉄道関係
- ・ファッション誌
- ・国外の言語が勉強できる本(韓国語とか)
- ・大人向けの本
- ・美容関係
- ・ビジネス関連なもの
- ・ソード・アート・オンライン
- ・人とかかわり、人生の生き方
- ・数学についての本
- ・恋愛
- ・文豪
- ・怖い系
- ・ディズニー
- ・実用書
- ・自己啓発の本とか
- ・読みたくない

問8 その他の回答：

- ・好きな芸能人が読んでいた
- ・好きな作者がいるから
- ・授業
- ・家族からのすすめ
- ・ユーチューブ
- ・もともと興味があった
- ・家にあったから
- ・友達が読んでいた
- ・ふと
- ・自分で見たいと思った
- ・「愛菜の本棚」を読んで
- ・アニメとかマンガとかで
- ・コーチにすすめられたから
- ・アニメの原作
- ・学級文庫
- ・気づいた時には知っていた
- ・先生にすすめられた
- ・進研ゼミ
- ・ゲームやスポーツをやったら気になったことがあったから
- ・そもそも読まない

問9 その他の回答：

- ・スマホのアプリで読む
- ・読みたい本がない
- ・インターネット
- ・あきらめる
- ・クラスの本を借りる
- ・自力で探す
- ・コーチと買いに行く
- ・タブレット
- ・朝の読書の時間
- ・アマゾン
- ・ワンダーグーで立ち読み
- ・そもそも読まない
- ・本を読みたくない

問10 その他の回答：

- ・自力で探す
- ・本屋に行って探す
- ・かんで本屋をまわる
- ・本を読みたくないと思わない
- ・本屋や図書館でたまたま見かける
- ・見かけて面白そうだったら買う
- ・インスタで探す
- ・ビジネスコーナーに行行って良さそうな物
- ・探さない
- ・探したことがない

問12 その他の回答：

- ・読み聞かせ
- ・マンガ
- ・スポーツを向上する本
- ・アニメのマンガを増やしてほしい
- ・ファンタジー
- ・楽に座れる椅子がほしい
- ・もっとたくさんの小説を置いてほしい
- ・怖い本やなぞなぞ
- ・ゲーム系の本
- ・返却などを自分でできるようにする
- ・何か賞を受賞した本
- ・本がある場所をもうちょっと詳しく
- ・ビジネスのおもしろい本がほしい
- ・スナックやドリンクが必要
- ・休みの日に図書室にきて勉強ができるようにしてほしい
- ・ジャンルを増やしてほしい
- ・アニメの小説
- ・ハンモックなどのリラックススペースがほしい
- ・行かないからわからない
- ・特になし

問14 その他の回答：

- ・勉強ができるスペース
- ・もっと本や建物を清潔にしてほしい
- ・スナックやドリンク
- ・アニメやマンガ本を増やしてほしい
- ・読書室を開いて欲しい
- ・人気な本を複数置いてほしい
- ・コロナ対策
- ・なんでも
- ・特になし
- ・十分満足しているのではありません
- ・行かないからわからない
- ・わからない

問17 その他の回答：

- ・自分が好きなものの本があるから
- ・なんとなく
- ・自分の興味あるもの本は好き
- ・自分が興味を持ったことが分かるから
- ・学校などの暇な時間に読めるから
- ・楽しい
- ・集中できる
- ・小さい時から読んでいる
- ・本の世界に連れて行ってくれる
- ・夢中になるから暇つぶしにもなる
- ・笑ったり泣いたりたくさん感情が体験できる
- ・小説を読んで文の中の世界を想像するのが楽しい
- ・役立つ
- ・頭がよくなるらしい

問18 その他の回答：

- ・きらい
- ・文字がぎっしりつまっているのがきらい
- ・読む時間がないから
- ・文字ばかりで飽きる
- ・たいして面白くない
- ・勉強したほうがいい

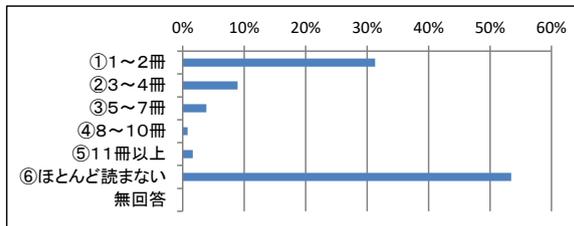
子どもの読書活動に関する実態調査結果(高校2年)

依頼人数及び回答数

回答数	依頼人数	回収率
492	507	97.0%

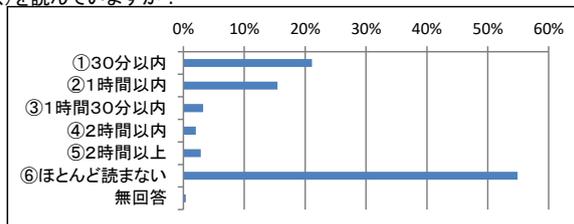
【問1】1か月にどれくらい本(漫画、雑誌を除く)を読みますか？

選択肢	回答数	回答率
①1～2冊	154	31.3%
②3～4冊	44	8.9%
③5～7冊	19	3.9%
④8～10冊	4	0.8%
⑤11冊以上	8	1.6%
⑥ほとんど読まない	263	53.5%
無回答	0	0.0%
合計	492	-



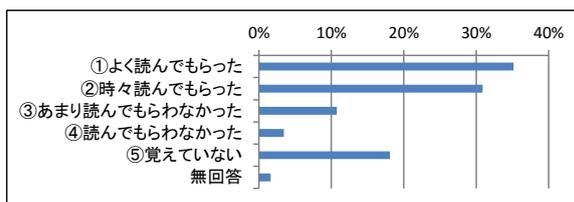
【問2】学校の授業以外で1日にどのくらいの時間、本(漫画、雑誌を除く)を読んでいますか？

選択肢	回答数	回答率
①30分以内	104	21.1%
②1時間以内	76	15.4%
③1時間30分以内	16	3.3%
④2時間以内	10	2.0%
⑤2時間以上	14	2.8%
⑥ほとんど読まない	270	54.9%
無回答	2	0.4%
合計	492	-



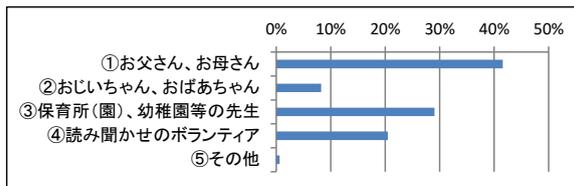
【問3】小さい頃、本を読んでもらいましたか？

選択肢	回答数	回答率
①よく読んでもらった	173	35.2%
②時々読んでもらった	152	30.9%
③あまり読んでもらわなかった	53	10.8%
④読んでもらわなかった	17	3.5%
⑤覚えていない	89	18.1%
無回答	8	1.6%
合計	492	-



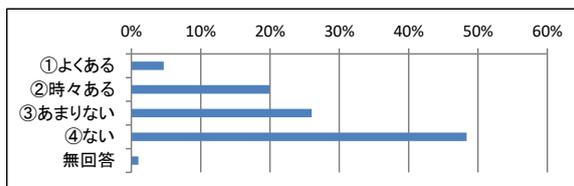
【問4】誰に読んでもらいましたか？

選択肢	回答数	回答率
①お父さん、お母さん	272	41.6%
②おじいちゃん、おばあちゃん	54	8.3%
③保育所(園)、幼稚園等の先生	190	29.1%
④読み聞かせのボランティア	134	20.5%
⑤その他	4	0.6%
合計	654	-



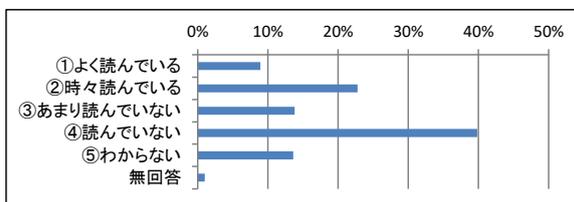
【問5】家で家族と本のことについて話すことはありますか？

選択肢	回答数	回答率
①よくある	23	4.7%
②時々ある	98	19.9%
③あまりない	128	26.0%
④ない	238	48.4%
無回答	5	1.0%
合計	492	-



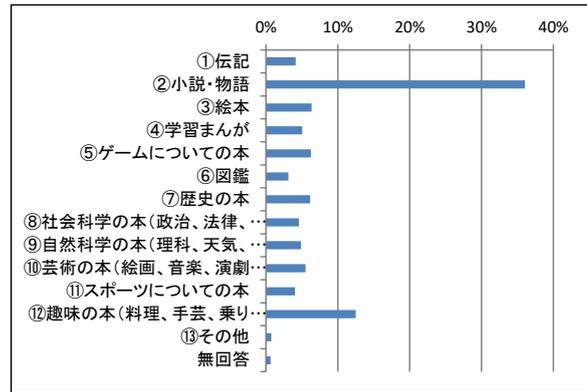
【問6】お父さん、お母さんは、家で本を読んでいますか？

選択肢	回答数	回答率
①よく読んでいる	44	8.9%
②時々読んでいる	112	22.8%
③あまり読んでいない	68	13.8%
④読んでいない	196	39.8%
⑤わからない	67	13.6%
無回答	5	1.0%
合計	492	-



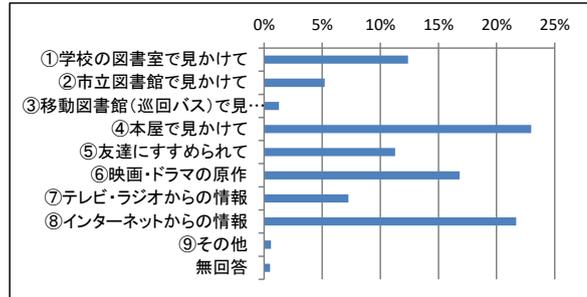
【問7】どんな本が読みたいですか？

選択肢	回答数	回答率
①伝記	45	4.1%
②小説・物語	392	36.0%
③絵本	69	6.3%
④学習まんが	55	5.1%
⑤ゲームについての本	68	6.3%
⑥図鑑	34	3.1%
⑦歴史の本	67	6.2%
⑧社会科学の本(政治、法律、教育など)	50	4.6%
⑨自然科学の本(理科、天気、宇宙、生き物など)	53	4.9%
⑩芸術の本(絵画、音楽、演劇など)	60	5.5%
⑪スポーツについての本	44	4.0%
⑫趣味の本(料理、手芸、乗り物、釣りなど)	136	12.5%
⑬その他	8	0.7%
無回答	7	0.6%
合計	1088	-



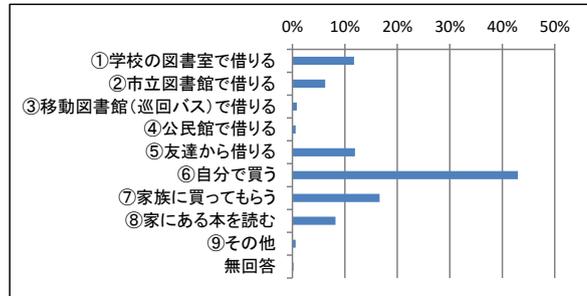
【問8】今まで読んでみたいと思った本は、どんなきっかけで知りましたか？

選択肢	回答数	回答率
①学校の図書室で見かけて	145	12.4%
②市立図書館で見かけて	61	5.2%
③移動図書館(巡回バス)で見かけて	15	1.3%
④本屋で見かけて	269	23.0%
⑤友達にすすめられて	132	11.3%
⑥映画・ドラマの原作	197	16.8%
⑦テレビ・ラジオからの情報	85	7.3%
⑧インターネットからの情報	254	21.7%
⑨その他	7	0.6%
無回答	6	0.5%
合計	1171	-



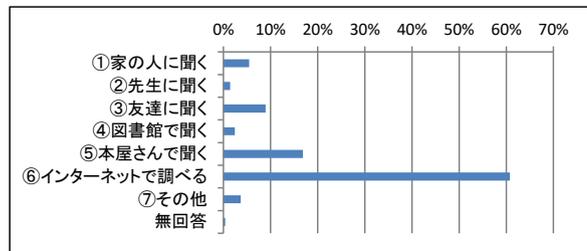
【問9】読みたい本をどのような方法で用意していますか？

選択肢	回答数	回答率
①学校の図書室で借りる	113	11.7%
②市立図書館で借りる	60	6.2%
③移動図書館(巡回バス)で借りる	8	0.8%
④公民館で借りる	6	0.6%
⑤友達から借りる	115	11.9%
⑥自分で買う	414	43.0%
⑦家族に買ってもらう	160	16.6%
⑧家にある本を読む	79	8.2%
⑨その他	6	0.6%
無回答	2	0.2%
合計	963	-



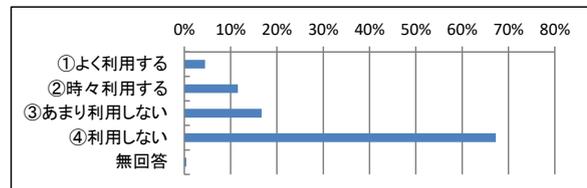
【問10】本を探すときは、どのような方法で探しますか？

選択肢	回答数	回答率
①家の人に聞く	27	5.5%
②先生に聞く	7	1.4%
③友達に聞く	44	8.9%
④図書館で聞く	12	2.4%
⑤本屋さんで聞く	83	16.9%
⑥インターネットで調べる	299	60.8%
⑦その他	18	3.7%
無回答	2	0.4%
合計	492	-



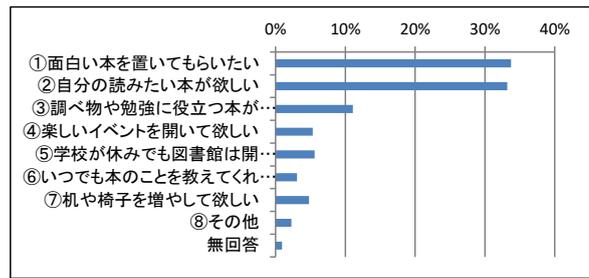
【問11】学校の図書館を利用して本を読んだり借りたりしていますか？

選択肢	回答数	回答率
①よく利用する	22	4.5%
②時々利用する	57	11.6%
③あまり利用しない	82	16.7%
④利用しない	331	67.3%
無回答	2	0.4%
合計	492	-



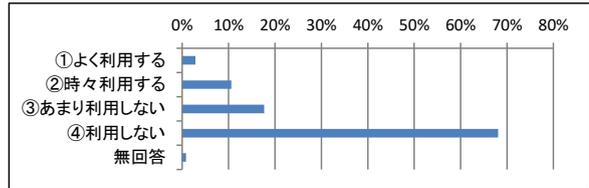
【問12】学校の図書館に望むものは何ですか？

選択肢	回答数	回答率
①面白い本を置いてもらいたい	253	33.7%
②自分の読みたい本が欲しい	249	33.2%
③調べ物や勉強に役立つ本が欲しい	83	11.1%
④楽しいイベントを開いて欲しい	40	5.3%
⑤学校が休みでも図書館は開いて欲しい	42	5.6%
⑥いつでも本のことを教えてくれる人がいて欲しい	23	3.1%
⑦机や椅子を増やして欲しい	36	4.8%
⑧その他	17	2.3%
無回答	7	0.9%
合計	750	-



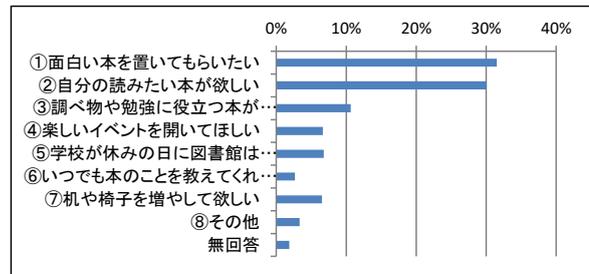
【問13】市立図書館を利用して本を読んだり借りたりしていますか？

選択肢	回答数	回答率
①よく利用する	14	2.8%
②時々利用する	52	10.6%
③あまり利用しない	87	17.7%
④利用しない	335	68.1%
無回答	4	0.8%
合計	492	-



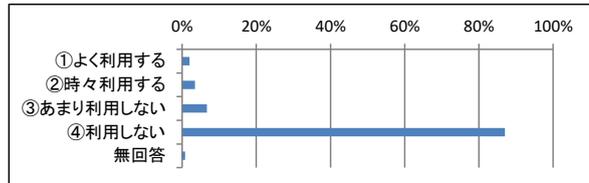
【問14】市立図書館に望むものは何ですか？

選択肢	回答数	回答率
①面白い本を置いてもらいたい	237	31.5%
②自分の読みたい本が欲しい	226	30.1%
③調べ物や勉強に役立つ本が欲しい	80	10.6%
④楽しいイベントを開いてほしい	50	6.6%
⑤学校が休みの日に図書館は開いて欲しい	51	6.8%
⑥いつでも本のことを教えてくれる人がいて欲しい	20	2.7%
⑦机や椅子を増やして欲しい	49	6.5%
⑧その他	25	3.3%
無回答	14	1.9%
合計	752	-



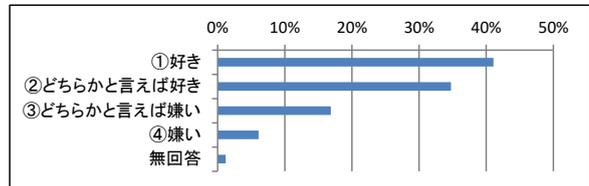
【問15】公民館の図書コーナーで本を読んだり借りたりしていますか？

選択肢	回答数	回答率
①よく利用する	10	2.0%
②時々利用する	17	3.5%
③あまり利用しない	33	6.7%
④利用しない	428	87.0%
無回答	4	0.8%
合計	492	-



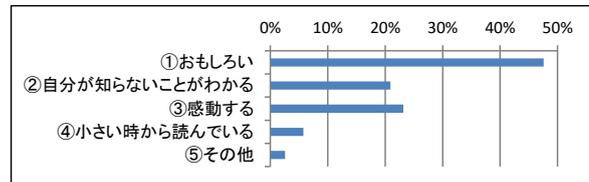
【問16】本を読むことが好きですか？

選択肢	回答数	回答率
①好き	202	41.1%
②どちらかと言えば好き	171	34.8%
③どちらかと言えば嫌い	83	16.9%
④嫌い	30	6.1%
無回答	6	1.2%
合計	492	-



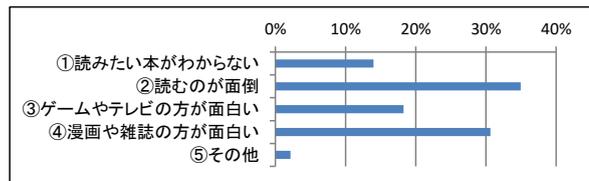
【問17】本が好きな理由は何ですか？

選択肢	回答数	回答率
①おもしろい	298	47.6%
②自分が知らないことがわかる	131	20.9%
③感動する	145	23.2%
④小さい時から読んでいる	36	5.8%
⑤その他	16	2.6%
合計	626	-



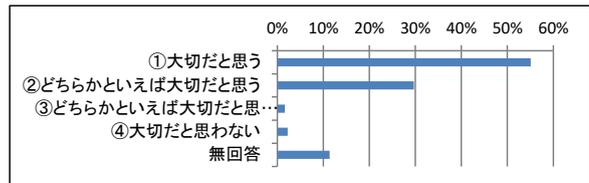
【問18】本が好きでない理由は何ですか？

選択肢	回答数	回答率
①読みたい本がわからない	26	14.0%
②読むのが面倒	65	34.9%
③ゲームやテレビの方が面白い	34	18.3%
④漫画や雑誌の方が面白い	57	30.6%
⑤その他	4	2.2%
合計	186	-



【問19】読書することは大切だと思いますか？

選択肢	回答数	回答率
①大切だと思う	271	55.1%
②どちらかといえば大切だと思う	146	29.7%
③どちらかといえば大切だと思わない	8	1.6%
④大切だと思わない	11	2.2%
無回答	56	11.4%
合計	492	-



問4 その他の回答:

- ・姉
- ・兄
- ・叔母
- ・近所の本好きな人
- ・ボイスロイド
- ・覚えていない

問7 その他の回答:

- ・漫画
- ・エッセイ
- ・哲学の本
- ・心理学の本
- ・自己啓発本
- ・韓国語の本
- ・人生の生き方

問8 その他の回答:

- ・母からすすめられて
- ・先生からすすめられて
- ・アニメの原作
- ・親が読んでた
- ・ビブリオバトル
- ・同じ人が書いている本

問9 その他の回答:

- ・インターネット
- ・電子辞書で読む

問10 その他の回答:

- ・自分で探す
- ・本屋をはじから見ていく
- ・作家名で探す
- ・自分の目にとまったもの
- ・気になったものを買う
- ・探さない

問12 その他の回答:

- ・絵本がたくさんほしい
- ・マンガが欲しい
- ・ビンゴ大会
- ・貸出期間を増やしてほしい
- ・18時まで開けてほしい
- ・哲学の本をもっと置いてほしい
- ・暖房をつけて暖かくしてほしい
- ・冷暖房を完備してほしい
- ・オシャレにすればみんな行くとと思う
- ・今のままでいい
- ・なし

問14 その他の回答:

- ・新しい本が入ったら知れる場を教えてください
- ・自由に勉強したり、本を読んだりできる机がほしい
- ・遠い
- ・家の近くにあってほしい
- ・借りたい本をもっと見やすくするシステム
- ・オシャレにしてほしい
- ・閉館時間をもう少し遅めてほしい
- ・専門書を増やしてほしい
- ・何も望まない
- ・不審者がいることがあるから
- ・放課後に自習できるように自習スペースの時間を
変えてほしい
- ・コロナの中でも自習室はやっているか学校に連絡し
てほしい
- ・入ったことがない
- ・なし

問17 その他の回答:

- ・いつも生活している世界とかけ離れた世界に出会える
- ・読むと良いことしかないので
- ・自分にはない考えや発想がある
- ・インスピレーションを受けることがあるから
- ・自分の知らない世界を見ることができる
- ・知りたいことを深く知ることができる
- ・暇をつぶせる
- ・勉強になる
- ・頭がよくなりそうだから
- ・人生を学べるから
- ・現実逃避できるから
- ・好きな作者さんがいるから
- ・自分の知らない考え方に触れられる
- ・面白いし、感動するし、ワクワクする
- ・夢中になる
- ・他者の人生や物語を体験できる
- ・教養が身につく
- ・ない

問18 その他の回答:

- ・勉強で読む時間がない
- ・集中がすぐ切れる
- ・主体性を失いそうだから

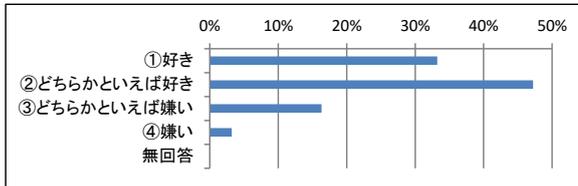
子どもの読書活動に関する実態調査結果(4歳児の保護者)

依頼人数及び回答数

回答数	依頼人数	回収率
343	403	85.1%

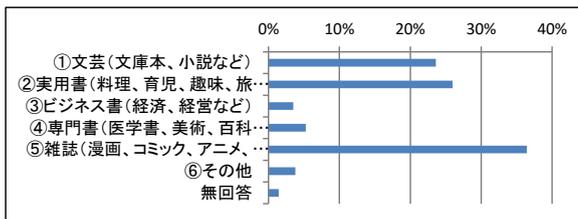
【問1】あなたは本を読むことが好きですか？

選択肢	回答数	回答率
①好き	114	33.2%
②どちらかといえば好き	162	47.2%
③どちらかといえば嫌い	56	16.3%
④嫌い	11	3.2%
無回答	0	0.0%
合計	343	-



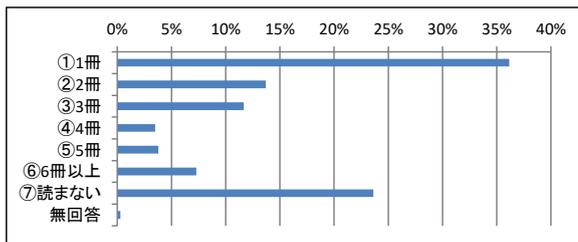
【問2】あなたはどんな本が好きですか？

選択肢	回答数	回答率
①文芸(文庫本、小説など)	81	23.6%
②実用書(料理、育児、趣味、旅行、地図など)	89	25.9%
③ビジネス書(経済、経営など)	12	3.5%
④専門書(医学書、美術、百科事典など)	18	5.2%
⑤雑誌(漫画、コミック、アニメ、週刊誌など)	125	36.4%
⑥その他	13	3.8%
無回答	5	1.5%
合計	343	-



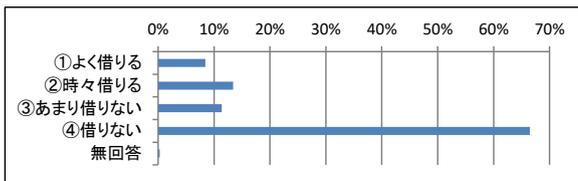
【問3】あなたは1か月にどれくらい本を読みますか？

選択肢	回答数	回答率
①1冊	124	36.2%
②2冊	47	13.7%
③3冊	40	11.7%
④4冊	12	3.5%
⑤5冊	13	3.8%
⑥6冊以上	25	7.3%
⑦読まない	81	23.6%
無回答	1	0.3%
合計	343	-



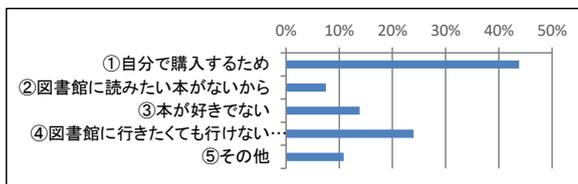
【問4】市立図書館で本を借りますか？

選択肢	回答数	回答率
①よく借りる	29	8.5%
②時々借りる	46	13.4%
③あまり借りない	39	11.4%
④借りない	228	66.5%
無回答	1	0.3%
合計	343	-



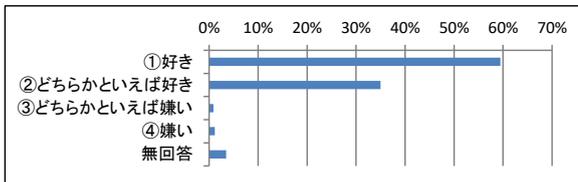
【問5】借りない理由は何ですか？

選択肢	回答数	回答率
①自分で購入するため	117	43.8%
②図書館に読みたい本がないから	20	7.5%
③本が好きでない	37	13.9%
④図書館に行きたくても行けない(立地、生活環境等)	64	24.0%
⑤その他	29	10.9%
合計	267	-



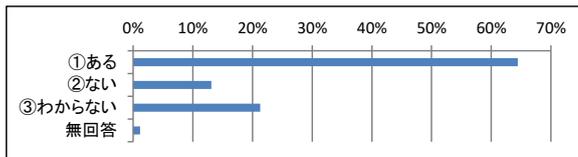
【問6】おさんは本(児童書、絵本等)が好きですか？

選択肢	回答数	回答率
①好き	204	59.5%
②どちらかといえば好き	120	35.0%
③どちらかといえば嫌い	3	0.9%
④嫌い	4	1.2%
無回答	12	3.5%
合計	343	-



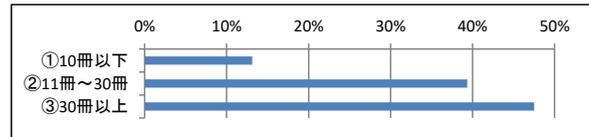
【問7】おさんは大好きな本(児童書、絵本等)がありますか？

選択肢	回答数	回答率
①ある	221	64.4%
②ない	45	13.1%
③わからない	73	21.3%
無回答	4	1.2%
合計	343	-



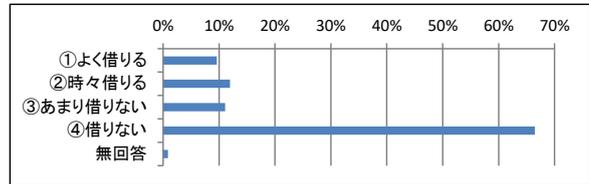
【問8】自宅に子どもの本(児童書、絵本等)はどれくらいの数がありますか？

選択肢	回答数	回答率
①10冊以下	45	13.1%
②11冊～30冊	135	39.4%
③30冊以上	163	47.5%
合計	343	-



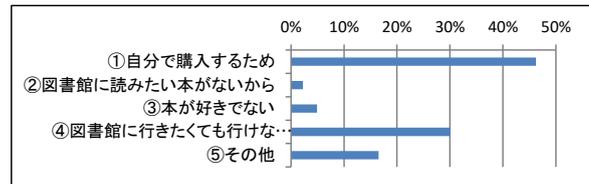
【問9】お子さんの本(児童書、絵本等)を市立図書館で借りますか？

選択肢	回答数	回答率
①よく借りる	33	9.6%
②時々借りる	41	12.0%
③あまり借りない	38	11.1%
④借りない	228	66.5%
無回答	3	0.9%
合計	343	-



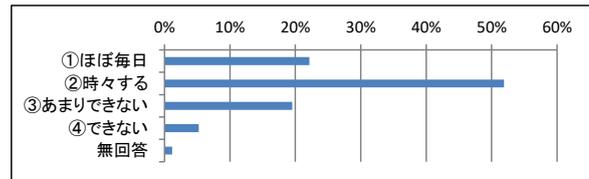
【問10】借りない理由は何ですか？

選択肢	回答数	回答率
①自分で購入するため	123	46.2%
②図書館に読みたい本がないから	6	2.3%
③本が好きでない	13	4.9%
④図書館に行きたくても行けない(立地、生活環境等)	80	30.1%
⑤その他	44	16.5%
合計	266	-



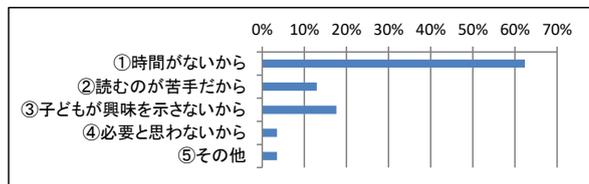
【問11】お子さんに読み聞かせをしていますか？

選択肢	回答数	回答率
①ほぼ毎日	76	22.2%
②時々する	178	51.9%
③あまりできない	67	19.5%
④できない	18	5.2%
無回答	4	1.2%
合計	343	-



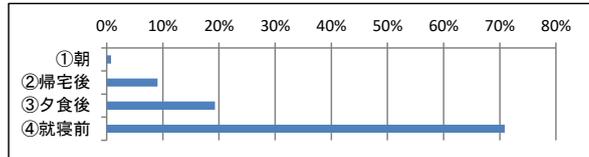
【問12】できない理由は何ですか？

選択肢	回答数	回答率
①時間がないから	53	62.4%
②読むのが苦手だから	11	12.9%
③子どもが興味を示さないから	15	17.6%
④必要と思わないから	3	3.5%
⑤その他	3	3.5%
合計	85	-



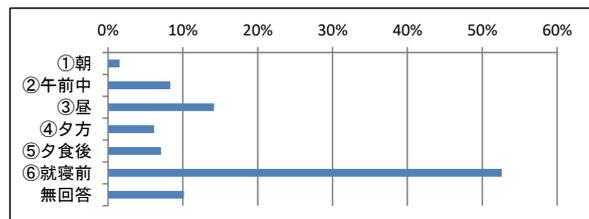
【問13】平日、いつ読み聞かせをしていますか？

選択肢	回答数	回答率
①朝	2	0.8%
②帰宅後	23	9.1%
③夕食後	49	19.3%
④就寝前	180	70.9%
合計	254	-



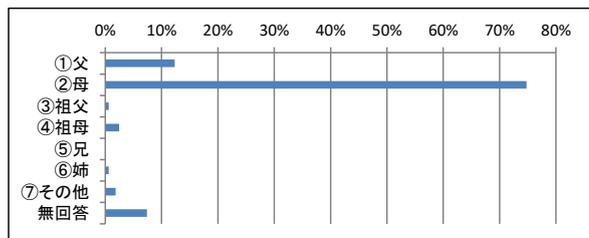
【問14】休日、いつ読み聞かせをしていますか？

選択肢	回答数	回答率
①朝	5	1.5%
②午前中	27	8.3%
③昼	46	14.2%
④夕方	20	6.2%
⑤夕食後	23	7.1%
⑥就寝前	171	52.6%
無回答	33	10.2%
合計	325	-



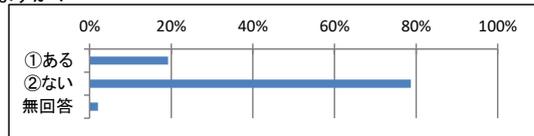
【問15】誰が読み聞かせをしていますか？

選択肢	回答数	回答率
①父	40	12.3%
②母	243	74.8%
③祖父	2	0.6%
④祖母	8	2.5%
⑤兄	0	0.0%
⑥姉	2	0.6%
⑦その他	6	1.8%
無回答	24	7.4%
合計	325	-



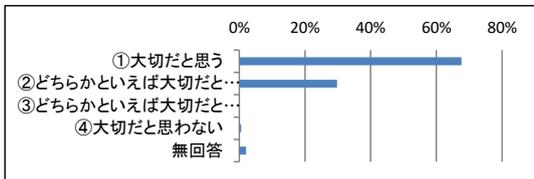
【問16】市立図書館で「読み聞かせ」が開催されていますが、1度でも参加したことがありますか？

選択肢	回答数	回答率
①ある	66	19.2%
②ない	270	78.7%
無回答	7	2.0%
合計	343	-



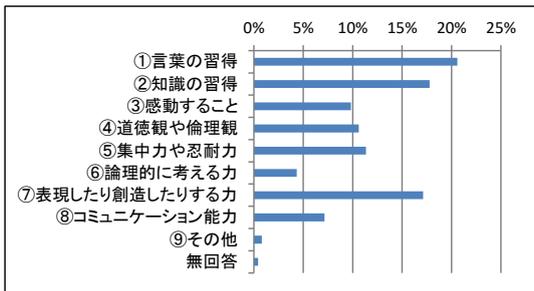
【問17】読み聞かせは大切だと思いますか？

選択肢	回答数	回答率
①大切だと思う	232	67.6%
②どちらかといえば大切だと思う	102	29.7%
③どちらかといえば大切だと思わない	0	0.0%
④大切だと思わない	2	0.6%
無回答	7	2.0%
合計	343	-



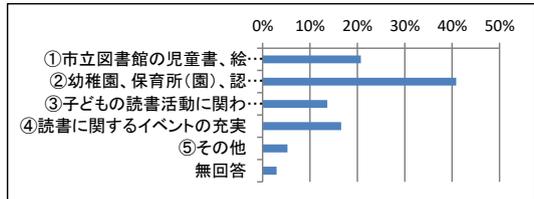
【問18】子どもが読書することによって得られることは、どのようなことだと思いますか？

選択肢	回答数	回答率
①言葉の習得	285	20.6%
②知識の習得	246	17.8%
③感動すること	136	9.8%
④道徳観や倫理観	147	10.6%
⑤集中力や忍耐力	157	11.3%
⑥論理的に考える力	60	4.3%
⑦表現したり創造したりする力	237	17.1%
⑧コミュニケーション能力	99	7.2%
⑨その他	11	0.8%
無回答	6	0.4%
合計	1384	-



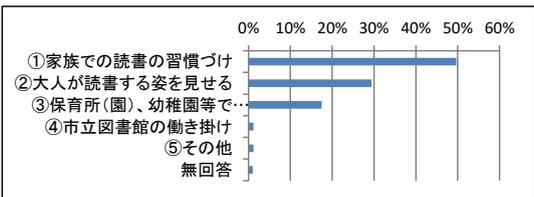
【問19】子どもの読書環境等で、充実させて欲しいと思うことは何ですか？

選択肢	回答数	回答率
①市立図書館の児童書、絵本の充実	99	20.8%
②幼稚園、保育所(園)、認定こども園の絵本コーナーの充実	195	40.9%
③子どもの読書活動に関わる指導者やボランティアの充実	65	13.6%
④読書に関するイベントの充実	79	16.6%
⑤その他	25	5.2%
無回答	14	2.9%
合計	477	-



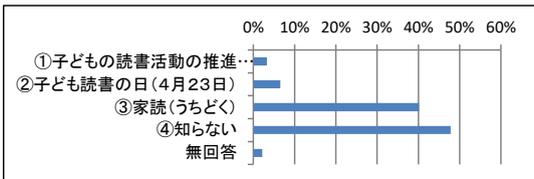
【問20】本の好きな子どもに育てるには、どんなことが必要だと思いますか？

選択肢	回答数	回答率
①家族での読書の習慣づけ	292	49.7%
②大人が読書する姿を見せる	173	29.4%
③保育所(園)、幼稚園等での働き掛け	103	17.5%
④市立図書館の働き掛け	7	1.2%
⑤その他	7	1.2%
無回答	6	1.0%
合計	588	-



【問21】子どもの読書活動の推進について、知っているものがありますか？

選択肢	回答数	回答率
①子どもの読書活動の推進に関する法律	12	3.3%
②子ども読書の日(4月23日)	24	6.6%
③家読(うちどく)	147	40.2%
④知らない	175	47.8%
無回答	8	2.2%
合計	366	-



問2 その他の回答:

- ・絵本
- ・ファッション誌
- ・図鑑
- ・PHP
- ・資格

問5 その他の回答:

- ・時間がないため
- ・ネットで必要な情報が見られるから
- ・手元に本が残らないから
- ・本を読むという習慣がなかったから
- ・行くのが面倒
- ・遠いから
- ・返すのがおっくうになってくる
- ・借りることが好きではない
- ・本を破くかもしれないから
- ・本を読みたいと思わないから
- ・図書館の場所を知らない
- ・本を読まないので行く必要がない
- ・多数の人が借りた本を借りるのが苦手
- ・借りてまで読むとは思わない
- ・電子版で読むため

・返却日が気になってしまうため

- ・子供が楽しめる環境ではない
- ・図書館が暗い
- ・いつも子供と行くので、自分の本をゆっくり選べないから
- ・他の図書館で借りる
- ・借りなくてもアプリなどで読めるから
- ・借りた本を返却日まで読んで読む自信がない
- ・自宅にあるものを読む
- ・子育てで忙しい
- ・今は何となく行っていない
- ・行く機会がない
- ・子供が本を破ってしまったことがあり、行きづらくなった
- ・行きたいと思っているが行けてない
- ・コロナになってから借りに行かなくなりました

問7 書名の回答:

- ・ラッキーカレー
- ・ミック
- ・わくわくずかん
- ・はらぺこあおむし
- ・小学館の図鑑NEOシリーズ
- ・おたすけこびとシリーズ
- ・うんちっち
- ・おやすみくまたん
- ・いちご
- ・おふろでじゃぶじゃぶ
- ・11びきのねこ
- ・おでかけのまえに
- ・アンパンマンシリーズ
- ・やさいのおなか
- ・乗り物の本
- ・だいすきギュッギュ
- ・ポノロン
- ・かいけつゾロリ
- ・ぶたぶたくんのおかいもの
- ・となりのトロ
- ・パンダせんとう
- ・おぼけのぼけたくんシリーズ
- ・バムとケロシリーズ
- ・のらねこぐんだん
- ・星の銀貨
- ・恐竜図鑑
- ・すみっこぐらし
- ・児童書ドラえもん
- ・ぐりとぐら
- ・コんがらがっちシリーズ
- ・おしりたんていシリーズ
- ・ディズニープリンセス
- ・動物の絵本
- ・講談社の動く図鑑MOVE「鉄道」
- ・ぼく仮面ライダーになるシリーズ
- ・お寿司の図鑑
- ・100階建ての家
- ・1びきのねこ
- ・ウルトラマン
- ・あみだだだ
- ・おしっこもれたろう
- ・だるまさん
- ・ピーターパン
- ・白鳥の湖
- ・ももたろう
- ・ポケットモンスター関連
- ・おおきなかぶ
- ・きたかぜとたいよう
- ・くれよんのクロくん
- ・おとうさんはウルトラマン
- ・おさるのジョージ
- ・鬼滅の刃
- ・からすのパンやさん
- ・ノタン
- ・ディズニー名作ゴールド絵本
- ・ジブリの本
- ・電車の本
- ・新幹線でビューン
- ・十二支のはじまり
- ・マンガで読む日本史
- ・いちにちうんち
- ・もったいないばあさん

問10 その他の回答:

- ・何度も繰り返し読めないから
- ・他の図書館を利用している
- ・自宅に本が多いので行くまでと思っていなかった
- ・返すのがおっくうになってくるから
- ・借りることが好きではない
- ・やぶくかもしれないから
- ・保育所で毎週貸し出してくれるため
- ・家から遠いため
- ・返すのを忘れそう
- ・図書館に行ったことがなく様子が分からない
- ・図書館の場所を知らない
- ・アプリで読んでいる
- ・コロナになってから借りに行かなくなりました
- ・あまり行く機会がない
- ・買ってもらうことが多い
- ・時間がないため
- ・雰囲気明るくないから
- ・大人向けであって子供に開かれている雰囲気でない
- ・保育所で毎週貸出をしてくれるので
- ・アビタの中の図書館で借りている
- ・本を読むことより好きな遊びがあるから
- ・二人目の出産と子育てのため
- ・上の子がいるから
- ・きれいに読めず図書館で汚したと言われるから
- ・行くのが面倒

問12 その他の回答:

- ・自分で読むから
- ・読んでと言われないから
- ・子供が読んでといたときに読んでます

問15 その他の回答:

- ・ディズニーの本が自動で読んでくれる
- ・祖父母
- ・ひいおばあちゃん
- ・家族のだから

問18 その他の回答:

- ・母親との時間
- ・さまざまな絵に触れることでの色彩感覚
- ・字を覚える
- ・想像力を豊かにする
- ・プラス要素ばかりだと思います
- ・観察力
- ・想像や空想する楽しさなど

問19 その他の回答:

- ・市内に図書館を増やしてほしい
- ・行きやすい環境
- ・本を読みたいと思うきっかけ作り
- ・移動図書館の日を増やしたり休日を多くしてほしい
- ・近くに図書館があってほしい
- ・新しい本を増やしてほしい(専門書を特に)
- ・開催イベントの周知方法の充実
- ・いろいろなところに本の紹介コーナーがあると良い
- ・小さな子供が使いやすいような新しく明るいトイレにしてほしい
- ・絵本の探しやすいの充実(データベース等)
- ・市立図書館の改築
- ・良い本を紹介するコンテンツなど
- ・英語多読の為の洋書
- ・図書カード配布
- ・フルタイムで働いても気軽に借りやすい仕組み
- ・保育園、小学校の皆で一度行って静かに本を読む場所だと理解させる等
- ・本の値段を安くしてほしい
- ・地域の本屋さんの絵本の数や種類の充実
- ・今のところ満足している
- ・特になし

問20 その他の回答:

- ・おもちゃのプレゼントではなく本をプレゼントを渡す
- ・学校図書館、司書が充実すること
- ・自然に好きになるよう待つ
- ・興味があるものを自分で選ぶ
- ・読みたいときに読んであげること

子どもの読書活動の推進に関する法律

(平成13年12月12日法律第154号)

(目的)

第1条 この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

(基本理念)

第2条 子ども(おおむね18歳以下の者をいう。以下同じ。)の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

(国の責務)

第3条 国は、前条の基本理念(以下「基本理念」という。)にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

(地方公共団体の責務)

第4条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

(事業者の努力)

第5条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

(保護者の役割)

第6条 父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

(関係機関等との連携強化)

第7条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

(子ども読書活動推進基本計画)

第8条 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画(以下「子ども読書活動推進基本計画」という。)を策定しなければならない。

2 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

- 3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。
(都道府県子ども読書活動推進計画等)
- 第9条 都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画(以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。)を策定するよう努めなければならない。
- 2 市町村は、子ども読書活動推進基本計画(都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画)を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画(以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。)を策定するよう努めなければならない。
 - 3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。
 - 4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。
(子ども読書の日)
- 第10条 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。
- 2 子ども読書の日は、4月23日とする。
 - 3 国及び地方公共団体は、子ども読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。
(財政上の措置等)
- 第11条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附 則

この法律は、公布の日から施行する。

足利市子ども読書活動推進計画策定委員会設置要綱

(設置)

第1条 子どもの読書活動の推進に関する法律(平成13年法律第154号)の規定に基づき、足利市子ども読書活動推進計画(以下「推進計画」という。)を策定するに当たり、足利市子ども読書活動推進計画策定委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次に掲げる事務を所掌する。

- (1) 推進計画の策定に係る調査研究に関すること。
- (2) 推進計画の原案作成に関すること。
- (3) その他推進計画の策定に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、足利市立図書館協議会(以下「協議会」という。)委員の中から委員長を含む若干名をもって組織し、足利市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が委嘱するものとする。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長には協議会長、副委員長に協議会副会長の職にある者をもって充てる。
- 3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会の会議は、委員長が必要に応じて招集し、その議長となる。

- 2 委員長は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、意見又は説明を求めることができる。

(報告)

第6条 委員会は、会議の経過及び結果を教育委員会に報告するものとする。

(庁内検討会)

第7条 委員会に付すべき事項の調整並びに調査研究を行うため、委員会に庁内検討会を置く。

- 2 座長には市立図書館長を充て、構成員は別表に掲げる者をもって充てる。
- 3 座長は、必要があると認めるときは、会議に構成員以外の者の出席を求め、意見又は説明若しくは資料の提出を求めることができる。

(任期)

第8条 委員会の委員及び庁内検討会の構成員の任期は、推進計画の策定作業が完了されたときまでとする。

(庶務)

第9条 委員会及び庁内検討会の庶務は、教育委員会事務局市立図書館において処理する。

(委任)

第10条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、委員長が別に定める。

附則

この要綱は、平成28年8月24日から施行する。

この要綱は、令和3年5月14日から施行する。

別表

児童家庭課長
こども課長
健康増進課長
教育総務課長
生涯学習課長
学校教育課長
市立図書館長

足利市子ども読書活動推進計画策定委員会委員名簿

区 分	氏 名	備 考
委員 長	小 林 静 子	足利市立図書館協議会会長
副委員 長	川 端 秀 明	足利市立図書館協議会副会長
委 員	大 島 裕 子	足利市立図書館協議会委員
委 員	船 渡 川 歩	足利市立図書館協議会委員

庁内検討会メンバー

職 名	氏 名
参事・児童家庭課長	花 澤 久美子
こ ども 課 長	中 山 千 弘
参事・健康増進課長	菊 地 敬 子
参事・教育総務課長	菊 川 博 士
参事・生涯学習課長	石 井 邦 弘
参事・学校教育課長	近 藤 忠
市 立 図 書 館 長	丸 山 由美子

足利市子ども読書活動推進計画（第二期）

令和4年2月

発行	足利市・足利市教育委員会
著作編集	足利市子ども読書活動推進計画策定委員会
所管	児童家庭課・こども課・健康増進課・教育総務課・ 生涯学習課・学校教育課・市立図書館
連絡先	足利市立図書館 326-0801 足利市有楽町 832 電話 0284-41-8881 FAX 0284-44-3200
ホームページ	https://www.city.ashikaga.tochigi.jp/site/ashikaga-lib/